

淀川水系河川整備計画 進捗点検結果（令和6年度）

P 1 ～	桂川
P 5 ～	瀬田川・野洲川
P 10 ～	猪名川
P 15 ～	木津川下流
P 19 ～	木津川上流
P 23 ～	淀川本川
P 26 ～	宇治川

桂川進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

■説明資料で取り上げた点検指標

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	令和7年3月に、住民参加による桂川流域クリーン大作戦を開催した。2,039名が参加した。 また、地域住民、学生団体と連携し、桂川の貴重種の保全活動、外来種防除、河川清掃などの活動を定期的を実施した活動回数37回、2407名が参加した。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	・淀川河川公園大山崎地区では、繁茂する竹林の伐採作業や、ワンドでの外来種防除活動を定期的を実施している。地元企業の協力のもと、伐採竹をチップ化して観察路を造成し、ヒメボタルの観察などで自然環境を体感できる場づくり等の川づくりに関する活動を行った。 参加者からは「積み上げた竹チップ内に、多くのカブトムシの幼虫を発見し驚いた」「伐採した竹の活用方法について考えていきたい」等の意見があった。 そのほかの活動等を含め、活動全体を通じて、延べ179団体(住民団体155、行政関係8、学校関係16)と連携を行った。 ・桂川・嵐山地区において、鳴く虫を活かした地域・人づくりの取組みに向け、地域や企業の方々との意見交換会に向けたワーキングを実施。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和5年度で 256回(桂川では37回)、住民等と交流を行った。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	令和6年9月に桂川・渡月橋にて、中高生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、X)で、継続的に情報発信している。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	河道掘削を推進するため、埋蔵文化財調査を実施しており、調査結果から桂川の歴史を確認することができるため、地元住民への見学会を開催し、歴史だけでなく、事業の必要性や工事への御協力をお願いしている。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、改修事業等と併せて実施。令和6年度は実績なし。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	淀川河川公園大山崎地区において、公園利用者の安心・快適な公園利用を図るため、野球グラウンドの補修を行った。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし	
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」を61箇所に追加設置。 (長岡京市で21箇所に追加設置。)それにより、京都府域での設置箇所は454箇所となった。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。 なお、令和6年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック会議1回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。 また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成しており、令和5年度より運用を行っている。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	毎年度定期的に水源地域ビジョン連絡会を開催することにより、関係機関との連携を強化している。 日吉ダム(インフォギャラリー)見学者やダム下流のスプリングスひよしへの来館者は、コロナ移行、回復傾向であり、引き続き、ダム見学会等を通じて、上下流域の連携に取り組む。
	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	該当なし	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし	
	17	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗有り	令和4年度末に「鳴く虫がつなぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会」が設立され、令和6年度も引き続き継続して検討を行っている。
	18	良好な景観の保全・創出の取り組み	外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗有り	令和6年度は、河川環境に影響を及ぼす外来水草について、その生育状況を把握し、環境改善の基礎資料とすることを目的として、維持管理事業者と共同で、特定外来生物であるオオバナミズキンバイを約0.15t駆除作業により除去した。
	19			瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	該当なし	
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	該当なし	
	22		河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	該当なし	
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	該当なし	
	24	内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保		既設の堰・落差工の改良内容	進捗有り	令和6年度は、桂川における各堰の撤去前後の状況と、重要環境モニタリング調査の結果とを合わせて、桂川全体の状況を整理を行った。結果、主に魚類、植物、鳥類、カヤネズミについては、種数や個体数に減少は無く、堰の撤去による影響はみられなかった。

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
環境	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	28		流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし	
	29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし	
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗有り	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当無し	
	32		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗有り	令和6年度に桂川 渡月橋地点で水質調査(BOD)を実施。水質調査結果の平均値は0.6mg/Lであった。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当無し	
	35		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	該当なし	
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし	
	37		モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗有り	0k～18.6k区間で、瀬・淵及び重要環境モニタリング箇所を設定し、魚類、底生動物、植物相、鳥類、カヤネズミの調査を行った。
	38	流域管理に向けた継続的な施策展開	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗有り	淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和6年度、淀川環境委員会に諮った工事案件数は24件であった。(うち桂川は4件)
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗有り	令和6年度もスクリーニング会議において、淀川環境委員会からの指導・助言を受け、景観や環境に配慮した工事を行い、関係機関と連携して河川環境の保全・再生を図った。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗無し	令和6年度は実績なし。
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗有り	生物の良好な生息・生息環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗有り	毎年簡易水質調査を実施している。令和6年度も水生生物による簡易水質調査で水質階級を判定し、経年変化を調査・把握し、データの蓄積を行っている。
	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	河川レンジャーが自治体、自治会、学校等と連携し、河川管理施設の見学や、出前授業でマイ・タイムライン作成指導を行った。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	台風による大雨時、水害に強い地域づくり協議会の担当者とWEB会議で気象状況や水位予測等についての情報共有を行った。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了	
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	事務所HPIにて、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している。令和6年度は市町村への支援としてマイタイムライン等の作成支援を行った。また、水害に強い地域づくり協議会にて、要配慮者利用施設での避難訓練の実施に向け訓練実施状況等の周知を行った。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	進捗なし	市町村防災会議や地域防災計画更新の際に、地下空間への浸水対策に関する助言や技術的支援を行う。令和5年度は実績なし。
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	2024淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議を進めている。

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
治水・防災	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	自治体が管理する施設等にまるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知している。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」を令和5年度には61箇所を追加設置。(長岡京市で21箇所を追加設置。)それにより、京都府域での設置箇所は454箇所となった。また、出前講座やマイタイムラインの作成支援等も継続的に行っており、今年度は大山崎町で実施した。
	52		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(京都府域)分会を設置。令和6年度は・・・
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	進捗なし	残りの侵食対策については、今後の調査検討を踏まえ、整備予定。令和6年度は実績なし。
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	令和3度に可動式止水壁による左岸溢水対策が完成。これにより上流の亀岡地域の霞堤嵩上げ等の整備が推進。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	令和3年度に可動式止水壁による左岸溢水対策が完成したことで平成16年洪水を嵐山地区で溢れずに流すことが可能となった。引き続き、河川整備を実施することで、平成16年洪水を安全に流下させる。また、整備効果の把握に努める。
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗あり	日吉ダムでは令和6年度、2回の洪水調節を行い、ダム下流河川水位の低減に貢献した。
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸間の確実な操作のための取組	該当なし	指標に陸間と記載があり、桂川に対象施設がないため
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	各施設の耐震性能照査を実施し、要対策施設について対策内容を検討している。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	完了	
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
	67			陸間の確実な操作のための取組	該当なし	指標に陸間と記載があり、桂川に対象施設がないため
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	該当なし	
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	該当なし	
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	日吉ダムでは令和6年度、淀川水系渇水対応タイムライン(試行運用)に基づき、9月5日より日吉ダム管理所渇水対策本部を設置し9月13日一次取水制限、9月24日二次取水制限、10月1日三次取水制限を行い、11月の低気圧による降雨により貯水位が回復したため、11月6日取水制限解除および渇水対策本部を解散した。
川に11利用の促進	72		水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	進捗有り	令和6年9月に桂川・渡月橋にて、中高生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	現在、不法係留は確認されておらず、引き続き、秩序ある水面利用を促す。
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに4箇所の補修を実施した。

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
利用	75	河川利用の促進	「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗無し	令和6年度は実績なし。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	桂川の洪水敷利用について、自治体が占用する公園等を審議対象とし、河川保全利用委員会を開催。委員から「草刈りの時期、段階的に草丈を変化させることによる草地性の鳥類、昆虫類の利用」などの意見をいただき、環境保全を意識した管理について、占用者に指導・助言を実施した。
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	桂川においては、不法耕作は、令和元年度以降は約2.9万㎡で推移している。不法占用地における工作物に対しては、現地にて行為者への是正指導を粘り強く行った。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	平成21年度にかわまちづくり支援制度が創設され、河川管理者がハード・ソフト面での支援を行っている。
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占用された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和5年度での整備実績はなし。
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	桂川松尾橋周辺においてはバーベキュー利用者が多く、大量のゴミが放置される事態となっているが、引き続きチラシの配布や看板設置、巡視によりバーベキューのゴミを持ち帰ってもらうよう注意・啓発活動を継続し、ゴミの発生量は減少傾向にある。
	81			ホームレス対応内容・確認数	該当無し	令和5年までに2名が退去し、現時点での起居者なし。
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	嵐山地区の左岸治水対策が完成。引き続き、「一の井堰改築」「堰改築を含む派川改修」についても、検討委員会や地元連絡・検討会を開催し、学識経験者および有識者や地元からの助言等を踏まえ、景観や利用に配慮し検討を進める。
	83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	沿川市町からかわまちづくり等に対する相談があり、適宜調整・連携を図っている。
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	令和6年度に日吉ダムにおいて、ダム施設及び貯水池が適切に維持管理され良好な状態に保持されているか等を検査するダム定期検査(3年毎)が実施され、全体的に問題のないことが確認されている。 また、堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。 抽出された変状毎の2次評価結果では、令和6年度末時点で、予防保全段階50箇所、措置段階0箇所となっている。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	日吉ダムは、管理開始から27年が経過しており、計画堆砂量8,000千㎡のうち、令和6年度末における堆砂量は約2,900千㎡であり、堆砂率は約36%となっている。令和6年度、ダム上流部において約2千㎡の堆砂除去を実施。
	86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和6年度は橋梁、樋門等許可工作物57施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が17施設、予防保全段階が8施設あった。
	87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	桂川全体で令和5年度～令和6年度にかけて、69,000千㎡伐採した。このときの伐採箇所はすべて流水阻害対象樹木群であった。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断面測量等モニタリングを実施。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では、令和5年度で約160㎡、令和6年度で約130㎡のゴミを処理。

瀬田川・野洲川進捗点検結果（令和6年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	野洲川の住民団体、住民に対しては、清掃、河川の生き物、観水体験イベントを通じて河川の環境保全や、マナー向上意識の推進に寄与する活動に取り組んでいる。瀬田川においては、小学生とその親に対して瀬田川の自然と生き物、河川管理に関する講座を開催し、河川への関心度、意識向上に寄与する活動に取り組んでいる。 瀬田川水辺協議会にて「瀬田川にゴミが多い、沿川のみんなで清掃を。」との提言のもと、平成19年度より沿川住民、河川利用者等と協力し瀬田川一斉清掃を実施しており、この地域の10月第四日曜日の恒例行事として定着している。令和6年度は約300名の参加で実施した。河川美化への意識向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 併せて沿川住民、漁業組合等の河川利用者と協力し瀬田川クリーン作戦を実施している。令和6年度は4回実施した。河川美化への意識向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 令和6年度は地域住民や学校参加型の水生生物調査を2回開催し、川に直接触れていただく機会を提供した。また、野洲川河口部のヨシ帯では、5月に立命館守山中学校のサイテック部と協力し魚類のデータを収集した。
	2		住民・住民団体（NPO等）との連携	住民・住民団体（NPO等）との連携内容	進捗あり	河川協力団体であるウオーターステーション琵琶の会と連携し、川や琵琶湖に親しむことを目的に、水辺に親しむ体験型イベント「水辺の匠」を毎年7月と12月に開催し、治水、防災や河川環境をより身近に感じてもらうことができている。令和6年度においても、年2回開催した。治水、防災及び環境教育の推進に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数（治水・環境・防災などの拡大）と、住民・住民団体（NPO等）との交流内容	進捗あり	令和6年度は3名の河川レンジャー在籍スタートしたが、1名が途中で任命されたため、6年度末で4名の在籍となっている。河川レンジャー制度運営委員会においてとりまとめた「河川レンジャー活動の理念・あるべき姿」に基づき、一般公募により選ばれた河川レンジャーが河川清掃活動などを通じて住民と住民ならびに住民と行政との連携、協働を行う体系が確立できている。令和6年度は計26回の活動実施。河川環境意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	瀬田川及び野洲川で毎年、小中学生を対象とした水生生物調査を実施している。令和6年度は7月に野洲川で地元中学生と8月に瀬田川で地元住民と行った。「普段は川に行かないけれどもいろいろな生き物がいることがわかった。」などの感想をいただいた。環境保全意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 野洲川河口部ヨシ帯は、立命館守山中学校の環境学習フィールドとなっており、令和6年度においても、立命館守山中学校と連携して、水生生物調査を継続して実施した。生徒たちからは「ヨシ帯の効果が理解でき、興味を持った。ゴミ問題について考えるきっかけとなった。」という感想をいただき、環境教育の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 令和6年度は、南郷小学校で防災出前講座を1回行った。 大戸川では、大津市立上田上小学校6年生10名による卒業記念植樹や、大津市田上地区を中心に活動する「TANAKAMI子ども環境クラブ」の子ども達11名による水生生物調査などを実施した。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	事務所ホームページで水害において関心の高い、琵琶湖の水位や瀬田川洗堰の放流量に関する百々の情報を更新し掲載するとともに、事務所の取り組みに関する活動報告や記者発表の内容について、適宜、掲載し情報発信している。令和6年度はよりユーザーにとって使いやすくなるようホームページを更新した。 水のめぐみ館「アクア琵琶」では、令和6年度にアマサイコーナーを大戸川ダムコーナーにリニューアルした。 令和2年度より毎日、事務所X（旧Twitter）で琵琶湖水位・瀬田川洗堰放流量などを発信している。 河川レンジャーによる活動を広報することを目的にレンジャーレポートを作成し、令和6年度は3回のレポートを発刊した。 大戸川では、令和5年度からダム事業全体の進捗状況等をお知らせする「大戸川ダムだより」を発行しており、令和6年度も毎月発行し、事務所ホームページおよび事務所X（旧Twitter）にて掲載した。事務所X（旧Twitter）では、事業の進捗や大戸川ダム周辺地域の魅力を発信している。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	地域の方々との連携交流施設「ウオーターステーション琵琶」と、広報施設「アクア琵琶」を会場として、例年「水辺の匠」を開催。ウオーターステーション琵琶を利用している活動団体の方々と連携しながら、琵琶湖の治水、防災や環境などの情報発信を行っている。令和6年度は、7月と12月に開催。のべ約1800名が参加。河川や琵琶湖への関心向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 毎年3月頃に、守山市主催で『野洲川健康ファミリーマラソン大会』が開催されており、令和6年度は参加者を対象としたAR技術による浸水体験で流域治水の普及・推進や水害リスクの自分事化を推進したほか、瀬田川・野洲川の堤防除草で発生した刈草で作成した堆肥の配布、野洲川の歴史や樹木管理等の維持管理に関する取組をパネル展示によりPRした。 例年、6月末頃に、野洲川において守山市主催の『野洲川冒険大会』（いかだ下り大会）が開催されており、参加者及び関係者を対象にしたパネル展示やプレゼンテーション及び有志による「いかだ下り参加」を行っている。 大戸川ダム周辺整備やダムをきっかけとした周辺地域の活性化、工事中や完成後のダム見学ツアーなどの開催について今後検討を行うための社会実験として「2024大戸川ダムフェス」を開催。ダム上下流住民の交流やダム愛好家団体の参加もあり、一般来場者・スタッフ等関係者合わせて約600名で賑わいを見せた。 令和6年5月より広報施設「アクア琵琶」に大戸川ダムの特集コーナーを開設し、動画やパネルにより事業の紹介を行っている。また、より多くの方に関心を持ってもらうための取組として、令和7年1月より大戸川ダムのダムカードの一般配布を開始した。
	7		小径（散策路）、「歴史文化の薫る散歩道（仮称）」の整備	小径（散策路）の整備内容・延長	完了	
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	令和6年度は6月に堤防の安全利用点検を実施し、危険な箇所がないか点検を行い、危険と思われる箇所に応急復旧を実施した。 野洲川河川敷の栗東市が占用している野洲川運動公園において、令和6年度河川保全利用委員会審議を経て、太陽光水洗トイレへの交換や水導管の布設による手洗い場の整備が決定した。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし	
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	令和4年度に野洲川、瀬田川の多段階浸水想定図・水害リスクマップを作成・公表した。アクア琵琶2階にて、野洲川の浸水想定区域についてタッチパネルで表示する広報を行っている。令和6年度の野洲市民マラソンでは、市街地の浸水状況についてVR体験できるブースを出し、体験いただいた。「水害発生時の水の流れ、濁りなどがイメージできた。」と感想をいただいた。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	淀川流域治水協議会（琵琶湖分会）を令和6年度に1回開催した。 令和6年度に、瀬田川地域安全協議会を1回、野洲川地域安全協議会を2回開催した。 滋賀県主催の大規模氾濫減災協議会（湖北圏域、湖東圏域、東近江圏域、高島地域）に令和6年度に4回出席した。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	該当なし	
	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域（湛水区間）、下流域（流水区間）〕	該当なし	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域（盆地～源流部）木津川〕	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし	
	17	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代へ	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。 滋賀県、関係市、NPO法人、学識者、漁協等で構成される「琵琶湖外来水生植物対策協議会」にオブザーバーとして令和6年度において2回参加し情報共有、意見交換を行った。

瀬田川・野洲川進捗点検結果（令和6年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度点検結果
環境	18	の継承	外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	滋賀県、大津市、NPO団体、漁業協同組合等と連携を図り、駆除、葉刈りを令和6年度は瀬田川流域クリーン作戦を4回、瀬田川一斉清掃を1回の計5回実施した。外来水生植物の繁殖拡大防止に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。令和6年度は瀬田川唐橋公園付近において侵略的外来水生植物の繁殖抑制のための遮光シートを設置した。今後は効果をモニタリングする。
					進捗あり	野洲川の堤内側に整備している植栽護岸（延長450m）において、地元自治体等との協働により、植栽の再生に向けてシバザクラの植栽活動を行った。植栽後は「中洲芝桜通り ひだまり」と銘々され、地域の方々が見える河川空間として再生されており、植栽護岸の維持管理が地元自治会にて行われている。令和6年度も、維持管理などの事業は継続されており、瀬田川右岸70.6k散策路付近の樹木を伐採し、地域の方々が利用しやすいよう整備を実施した。引き続き南郷洗堰の維持も行っていく。令和7年3月の瀬田川整備検討委員会の結果、鹿跳溪谷景観に配慮すべく、掘削にあたり学識者に現場を確認いただきながら整備を進め、問題があった場合は柔軟に計画が変更できるようなモニタリング計画の作成を進めている。
					進捗あり	不法投棄警告看板をこれまでに66箇所設置している。不法投棄ゴミについては、令和6年度23.7㎡（瀬田川8.1㎡、野洲川15.6㎡）のゴミを回収処理した。
					該当なし	
					該当なし	
	22	河川の連続性の確保	河岸・陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域（湛水区間）〕	進捗あり	瀬・瀬再生事業として令和6年度は既設水制工1基を延伸し改良した。対岸砂州の全面の河床低下により、対岸砂州の冠水頻度が上がり、河岸侵食が発生することで二極化改善を期待しており、今後もモニタリングを継続する。
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域（感潮区間）、下流域（流水区間）、中流域宇治川〕	進捗あり	野洲川河口部のヨシ帯について、基盤整備等を行った結果、令和6年度までにヨシ帯の面積が1.8ha増加した。また、令和6年度は良好なヨシの保全とヨシ帯面積の拡大を目指し、住民と連携してヨシ刈り及びヨシ移植を行った。今後もヨシ帯再生エリアのモニタリング調査・地域連携を継続して実施していく。
	24			内湾・汽水域－河川、琵琶湖－内湖・流入河川の連続性の確保	進捗あり	野洲川落差工の改修については関係機関との調整を続けている（現況の夏休み期間の注意喚起を継続）
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域（湛水区間）〕	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	進捗あり	洪水期において、降雨による水位上昇後に急激な水位低下を抑制する瀬田川洗堰の環境に配慮した試行操作を継続して実施している。
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	進捗あり	琵琶湖の水位低下を抑制するため、琵琶湖からの下流水補給において、瀬田川洗堰の放流量を1㎡/s単位で調節するきめ細やかな操作を継続して実施している。
	28			流況の平滑化に対する河川環境の改善	該当なし	
	29			河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況（流量・水位の変動様式）の改善	進捗あり	瀬田川洗堰で放流量を調節することにより、琵琶湖周辺の洪水防御、淀川の洪水流量の低減、琵琶湖の水位維持、淀川の流水の正常な機能の維持並びに水道用水及び工業用水の供給を行っている。
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	令和6年度は、琵琶湖、瀬田川、野洲川の24地点において、月1回の頻度で水質調査を実施し、調査結果等を滋賀県、水資源機構と情報共有を図った。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	進捗あり	一滋賀県、関係市、NPO法人、学識者、漁協等で構成される「琵琶湖外来水生植物対策協議会」にオブザーバーとして令和6年度において2回参加し情報共有、意見交換を行った。
	32		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域（湛水区間）瀬田川（野洲川含む）〕	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。令和6年度は、前年度と比較して全りんの値が北湖で高く、透明度の値が北湖で低い傾向であった。また過年度と比較してCODの値が瀬田川で低い傾向であった。
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	河川における水質調査を瀬田川、野洲川で各1地点継続して実施し、水質監視を行っている。また、淀川水質汚濁防止連絡協議会の関係機関と情報共有を図り、令和6年度4件の水質事故に対応した。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし	
	35		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容（既存ダム、ダム下流）	進捗あり	令和7年3月の瀬田川整備検討委員会の結果、鹿跳溪谷の掘削にあたり瀬田川の土砂動態が変わること下流能力・環境・景観に大きな影響を与える恐れがあることから、土砂のモニタリングを行うことになったため、モニタリング計画の作成を進めている。
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数（砂防施設）	完了	
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	野洲川河口部では、横断方向の連続性やヨシ帯を回復し、かつての自然環境を取り戻す自然再生事業を実施している。事業による河川環境の変化を把握するため、ヨシ帯の再生状況や再生したヨシ帯へのコイ科魚類等の産卵状況のモニタリング調査を継続して実施している。また、河川レンジャーのコーディネートのもと、地元中学生等ともモニタリング調査を実施するなど学習フィールドとして活用されている。野洲川上流部において水制工を設置し、滞筋を蛇行させ瀬・淵を再生し、礫河原の復元を図り、アユ等の生息環境やカワラハヤコ等在来植物の生育環境の創出に向けた自然再生事業を進めている。段階的な施工を進めており、学識者の助言も得ながら、河床の変動予測と現地でのモニタリング結果を踏まえ、水制工の配置や形状を適宜、見直しながら順応的に進めている。
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	環境に配慮した工事の箇所について関係自治体と調整中。令和7年3月の瀬田川整備検討委員会の結果、鹿跳溪谷に生息する整備の影響を受けることが想定される重要種への影響を検討し、モニタリング計画の作成を進めている。
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。淀川水質汚濁防止連絡協議会の関係機関と情報共有を図り、令和6年度4件の水質事故に対応した。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和6年度は、「野洲川立入河川公園（守山市）」、「野洲川運動公園（栗東市）」及び「野洲川河川公園（野洲市）」について、河川保全利用委員会での審議結果を踏まえ更新許可を行った。

瀬田川・野洲川進捗点検結果（令和6年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	平成24年度から人材育成として立命館守山中学校と職員で環境教育を継続して行っている。令和6年度も5月に行った。また、令和6年度は野洲川河口部ヨシ帯のヨシ刈り及びヨシ移植に職員が参加することで環境保全、自然再生の学習の場となった。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	地域安全協議会では、令和元年度から防災教育の促進に向けて協議会とモデル校が連携し、防災教育に関する指導計画（案）等の作成を支援した。作成した指導計画（案）等は、協議会に関連する全ての市と共有し、防災意識の啓発を図り防災力の向上に取り組んでいく。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	令和7年1月18日に守山市役所で地域の方々を対象とした、しが・マイタイムラインの作成体験を滋賀県と連携し実施した。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	進捗あり	令和6年度に、瀬田川地域安全協議会を1回、野洲川地域安全協議会を1回開催し、沿川市のハザードマップのフォローアップを実施した。 災害対応時の作業を正確に行うため、令和6年度は7回彦根地方気象台と洪水予報発出に関する情報伝達訓練を行った。
	46			災害対応プログラムの作成内容	進捗あり	令和6年度に瀬田川及び野洲川の沿川市と、流域タイムラインを作成、有事に備えたタイムラインの共有を図った。これにより、関係機関（流域の県、市）と連携を促進する。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	瀬田川・野洲川の重要水防箇所の現地共同点検を実施（令和6年6月12日、令和6年6月21日）。 令和2年度に瀬田川・野洲川水防連絡会に加盟している団体、自治体の水防担当職員21名に対し、排水ポンプ車や照明車を利用した操作説明を実施した。参加者からは「排水ポンプ車の大きさ、排水方法が分かり支援要請時に伝えるべき現地情報の重要性を理解した。」などの意見があり、防災活動の支援向上に寄与していることから、今後も継続して取り組んでいく。 令和6年度には滋賀県建設業協会に対し、排水ポンプ車、照明車について説明会を実施した。建設業協会との災害協定に基づき協力要請を行った場合に備え、災害対策用機械について理解して頂き、迅速な復旧活動を行うこと目的に今後も継続して取り組んでいく。 毎年、榎門等操作委嘱している瀬田川・野洲川地元操作員に対し、通常操作に加え緊急時操作や避難について説明および訓練を実施しており、令和6年度においても瀬田川では5月22日、野洲川では5月24日に行った。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	災害時には、緊急復旧活動や水防活動を迅速に行うための拠点となり、平常時には地域の活性化や賑わいを創出する「MIZBEステーション整備計画」、河川空間とまち空間が融合した新たな河川空間を活用した地域の賑わいを創出する「かわまちづくり計画」の両計画が令和6年8月に登録された。「滋賀県立高等専門学校」の整備が隣接地で進められており、令和10年の開校に合わせて国・県・市で連携し、地域の防災力強化と多くの人々が交流・活動・学習できる賑わいの核の整備を進める。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	滋賀県が下水道施設の耐水化計画の検討するため、瀬田川の浸水想定区域図の解析データを提供して、耐水化検討の支援を行った。引き続き、浸水想定区域図の解析データを活用して支援を行う。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	野洲市が野洲駅周辺の内水被害を軽減すべく、雨水幹線の整備を検討しているため、技術的支援を行っている。 令和6年度は1回打ち合わせを行った。
	52		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	淀川流域治水協議会において令和6年度は流域治水プロジェクト2. 0の拡充、プロジェクトの進捗状況等について情報共有した。
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	瀬田川では、整備計画対策必要延長1.8kmの整備が完了し、洪水に対する堤防の安全性が向上。引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。 野洲川では、整備計画対策必要延長5.7kmの整備が完了し、洪水に対する堤防の安全性が向上。引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	該当なし	
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	瀬田川上流では、琵琶湖の後期放流に対応した1500m ³ /sの河道掘削が令和3年度で完了した。下流の鹿跳溪谷については、景観、自然環境の保全や親水性の確保などに配慮した河川整備を検討するため、有識者で構成する「瀬田川整備検討委員会」を設置し、対策方法を議論している。令和7年3月の瀬田川整備検討委員会の結果、67.6k～68.0kまでの区間を先行して掘削し流下能力のモニタリングを行うことで、鹿跳溪谷区間の掘削後の流下能力の精度を高め、残りの掘削計画を決定することになった。 整備計画の変更に伴い、大戸川ダム本体着手に向けた調査・設計とあわせ、ダム事業実施による環境への影響を検討するための調査等を実施。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	完了	
	58	高規格堤防（スーパー堤防）の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策（砂防堰堤、山腹工）の実施内容・箇所数	完了	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸間の確実な操作のための取組	該当なし	

瀬田川・野洲川進捗点検結果（令和6年度の点検結果）

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	完了	
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし	
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
	67			陸間の確実な操作のための取組	該当なし	
利 水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗なし	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、近年は令和3年度に水利権許可の実績が2件あり。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗なし	引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗なし	令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成することで、渇水に対する体制を整えている。また、琵琶湖河川事務所渇水対策支部運営要領の見直しを行った。令和5年の渇水の際は琵琶湖開発総合管理所渇水対策本部を設置した。
利 用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組（水面利用）	舟運の取り組み内容	進捗あり	第一疎水の観光船の、びわ湖大津港までの延伸のため、第一疎水の閘門において、通過船舶の指定の変更を行った。
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	河川巡視や河川愛護モニターによる報告内容に基づき、ゴミの除去や利用者への注意喚起等を行っている。
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	6月6日に瀬田川管内、6月12日に野洲川管内にて安全利用点検を実施した。 立入禁止区域としている野洲川落差工については、沿川の幼稚園・小学校等に水難事故啓発チラシを配布するとともに、夏季の特別巡視を行い、水難事故の発生防止に努めている。令和6年度においては水難事故は発生していない。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用（環境教育等）の実施内容	進捗あり	野洲川において、地元住民、自治体や企業等を対象として、河川清掃やEポートによる中洲探検等の親水イベントを通じた環境・防災学習を実施しており、令和6年度は約20名の方に参加いただいた。環境・防災意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 野洲川河口部ヨシ帯は、立命館守山中学校の環境学習フィールドとなっており、令和6年度においても、立命館守山中学校と連携して、水生生物調査を継続して実施した。生徒たちからは「ヨシ帯の効果が理解でき、興味を持った。ゴミ問題について考えるきっかけとなった。」という感想をいただき、環境教育の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。また、毎年、水生生物調査を小中学生対象に瀬田川及び野洲川で実施している。令和6年度は7月に野洲川で地元中学生と8月に瀬田川で地元住民と行った。「普段は川に行かないけれどもいろいろな生き物がいることがわかった。」などの感想をいただいた。環境保全意識の向上に寄与していることから、こちらも引き続き実施していく。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組（川らしい河川敷利用）	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	令和6年度は、「野洲川立入河川公園(守山市)」、「野洲川運動公園(栗東市)」及び「野洲川河川公園(野洲市)」について、河川保全利用委員会での審議結果を踏まえ更新許可を行った。
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	野洲川堤外民地の県管理時代からの住居等について、拡大防止に努めつつ、まずは境界確定から取り組んでいる。令和5年度には境界不調のままであった。瀬田川の県管理時代からの住居付属物の不法占用については、機会を捉えて是正指導を図るべく、状況を注視を続けている。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	野洲市MIZBEステーションかわまちづくり計画について、国・県・市が連携し事業化に向け調整を図った結果、令和6年6月に登録申請が行われ、令和6年8月に計画登録された。
	79			小径（散策路）の利便性向上の取組内容	進捗あり	令和6年度に瀬田川右岸70.6k散策路付近の樹木の伐採を実施。
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	河川巡視により、令和6年度においては不法駐車等の違法行為が223件見受けられた。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	栗東市伊勢落地先にて、違法焼却ゴミ跡を確認しており、毎月状況をモニタリングしている。 なお、ホームレス等は確認されていない。
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	地域協議会において平成18年度にとりまとめられた「瀬田川のあるべき姿」に基づき、維持管理について、水辺利用、景観、植生の維持を地域住民と共に協働支援している。
	83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	野洲市MIZBEステーションかわまちづくりは、「河川空間」と「まち空間」が融合した地域の賑わいを創出する場として整備できるよう、関係機関と事業化に向けた調整を図った結果、令和6年6月に登録申請が行われ、令和6年8月に計画登録された。

瀬田川・野洲川進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
維持 管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検・評価を毎年行い、令和6年度の点検結果では、予防保全段階として5箇所、措置段階が0箇所との点検となった。順次対応を行っていく予定。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	該当なし	
	86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。設置者自らが、毎年出水期前に点検を実施。要補修箇所が無いことを確認。令和6年度の点検結果は、167箇所の施設を点検し、要補修箇所は0箇所だった。 野洲川においては令和元年度～令和4年度にかけて、442.2千㎡伐採した。これによって、流下能力が向上するとともに、対岸までの見通しが確保でき、河道内の状況を把握できるようになった。、令和4年度～令和6年度にかけては、1225千㎡の幼木踏み倒しを実施し、コスト縮減を図っている。 放水路事業により確保した流下能力を維持するため、令和4年度に、野洲川幸津川地区において、河道内堆積土砂の除去を実施した(約3.8万㎡)。また、瀬田川太子地区において河道内堆積土砂の除去を実施した(約2.6万㎡)。令和6年度は管理上支障となる堆積土砂がなかったものの、引き続き、必要な区間の堆積土砂を撤去していくとともに、堆積状況等のモニタリングを継続していく。 警告看板設置やホームページへの掲載により、不法投棄の啓発活動を行っており、今後も引き続き、ゴミの不法投棄対策を進めていく。また、不法投棄ゴミについては、令和6年度に19.8㎡のゴミを回収処理した。
	87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	

猪名川進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの人と川とのつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	令和6年度は、「川に関心を持ってもらう」に関する取り組みとして出前講座や防災教育等を18件、「川にふれてもらう」に関する取り組みとして水生生物調査や体験学習等を11件、「川をともに考える」に関する取り組みとして意見交換会や河川清掃等を10件実施しており、川や環境へ興味・関心を持つ機会を設けることができた。参加者からは、「猪名川を大切にしたいと思った」、或いは「防災に役立つ講座だった。」と幅ね好評価であり、今後も引き続き人と川をつなぐ取り組みを実施していく。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	令和6年度は、河川協力団体(2団体)との意見交換会を開催した。今後も外来植物駆除、在来種保全等に関する情報の共有や、ヒメボタル生息区域での樹木管理で引き続き連携していくことを確認した。樹木管理を連携実施したことで、良好な生息区域が保全された結果、5月に多数の生息(発光)を確認することが出来た。猪名川クリーン作戦は、令和6年度より従来の各拠点(18箇所)毎で実施する形に移行した。直轄区間内では活動の規模縮小が懸念されたが、9箇所のうち8箇所で引き続き実施され、参加団体において活動への意義を見出していることがうかがえた。今後も、ゴミ袋の提供、大型ゴミの回収等バックアップしていく。なお、実施日の変更を申し出る団体もあり、今後は、日を統一して開催できるかが課題と考えている。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	令和6年度は、河川レンジャー4人、協力員2人の体制となっている。なお、年度途中で1名退任している。河川レンジャー主催の「猪名川いーな」で、猪名川の魅力を表現した「写真」と「絵画」を募集(応募数117点)し、イオンモール伊丹(伊丹市)等5施設での展示・表彰を行いレンジャー活動を発信している。また、小学校からの要請を受け実施する出前授業(水環境学習)のほか、子どもの関心を高めることを目的に、主に親子を対象とした「ヒメボタル観察会」を開催し、130名の参加があった。参加者からは、「猪名川に豊かな自然があることがわかった。」、「来年も見にきたい」等好評であった。今後も、沿川住民の関心を持ってもらえるように続けていく。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	猪名川流域の小・中学校からの要望に応じて、猪名川の自然環境についての出前講座等の環境教育を実施しており、令和6年度は7回実施(河川R出前授業と事務所出前講座を合計)した。子供たちに川での水生生物調査、バックテスト等の体験学習をしてもらうことで、「実践ができて面白かった」や「猪名川についてよく知れた」等好評であった。また、猪名川分科会主催の水環境交流会を開催。体験ブース(7団体、8ブース)と発表1団体のほかパネル展示を行い、多くの子供たちに猪名川の水環境の現状や取り組みに関する情報発信を行った。今後も、これらイベントによる子ども達への環境教育を実施していく。
	5	憩い、安らげる河川の整備	情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取組	進捗あり	猪名川河川事務所ホームページのリニューアルを行い、配信の他、SNSによるインスタグラム(平成30年度より)、X(令和元年度より)による配信を行っている。スマートフォンの利用も含め、いつでも、どこでも、誰でも手軽に情報を入手しやすい環境づくり等の取り組みを推進していく。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民、住民団体との交流内容	進捗あり	子どもの関心を高めることを目的に、主に親子を対象とした「ヒメボタル観察会」を開催し、130名の参加があった。参加者からは、「猪名川に豊かな自然があることがわかった。」、「来年も見にきたい」等好評であった。今後も、沿川住民の関心を持ってもらえるように続けていく。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	令和6年度は実績なし。改修事業に併せて必要に応じて実施していく。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	河川を安心して利用できるように、占用者にて公園施設の計画的な補修等を行っている。令和6年度は、瀬川左岸(尼崎市)の手すり1箇所の設置を行ったことで、堤内地から安全に河川へアプローチできるようにし、利用者の安全性の向上に寄与している。
	9	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし	
	10		破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数	進捗あり	まるとまちごとハザードマップの設置については、平成28年度に必要箇所の全てにおいて設置が完了している。令和6年度において、川西市:27箇所、伊丹市:5箇所、尼崎市:14箇所、池田市:6箇所の合計52箇所に設置されている。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	「猪名川・瀬川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」では、令和6年度は、猪名川・瀬川の大規模氾濫を前提とした減災に係る取組方針について、流域タイムラインの見直しや多機関連携型タイムラインの作成・活用等について参加機関と情報を共有した。また、「猪名川・瀬川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」の参加機関と連携した取り組みを行うことによって、河川管理者間の地域防災力向上に向けた共通認識を深めることができた。今後も引き続き参加機関との連携を強化し、洪水時等における円滑かつ迅速な避難確保に向けた取り組み等を実施していく。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	一庫ダム水源地域ビジョン推進協議会主催の流木ベインティング大会は、ダム湖に流入した流木を有効活用して芸術作品を制作するとともに、会場周辺のゴミを拾って美しい猪名川・知明湖の再生を目指すイベント。令和3年8月1日(日)には知明湖キャンプ場にて参加者27名、令和4年7月31日(日)には一庫ダム管理所にて参加者30名、令和5年7月30日(日)には一庫ダム管理所にて参加者37名、令和6年8月25日(日)には一庫ダム管理所にて参加者15名にて開催。(H19年より毎年開催計18回) 一庫ダム内部見学&説明会は、能勢電鉄山下駅から一庫ダムまでのハイキングの後、ダム見学及び説明会を行うイベント。広報紙やHPによる募集を行っている。令和3・4年度はコロナ禍のため中止したが、令和5年度は8月27日に参加者約150名、令和6年度は12月15日に参加者約129名にて開催。(H18年より計17回開催) 流木ベインティング大会は、廃棄物となる流木を使って芸術作品を作り、利用者からも「きれいな流木はなかなか手に入らないので、普段あまり経験できない体験ができた。」など好評を得ている。今後もダム湖周辺におけるマラソン大会など関係機関と連携し、下流域の住民等とダム施設との関わりを深めるイベントとして実施していく。
多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数	該当なし	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容	該当なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所	該当なし	
	17	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	久代北台井堰の補修により魚道の機能が回復した。今後の魚道整備としては、魚道の入り口に魚類が確実にアクセスできるように、本魚道を設置してもらいたいとの意見を頂いたことを踏まえ、今後の河川環境整備の方針を検討していく。
	18		外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	令和6年度は、河川協力団体と意見交換会を開催した。今後も外来植物駆除、在来種保全等に関する情報の共有等において、引き続き連携していくことを確認した。当該河川協力団体が、定期的にアレチウリ等外来種駆除に取り組みしており、駆除ゴミの回収等連携している。

猪名川進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
環境	19	良好な景観の保全・創出の取り組み		瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容	該当なし	
	20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	猪名川の直轄河川管理区間における不法投棄について、令和6年度は約30㎡の不法投棄ゴミ等を処分した。今後も引き続き、投棄箇所での警告看板による啓発を実施するとともに、投棄が発生する前の事前の対策について、現場における取組の中で検討していく。
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数	該当なし	「淀川水系河川整備計画(変更)令和3年8月6日」にて当該項目・指標の進捗点検を行う対象から除外されたため。
	22	河川の連続性の確保	河岸・陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所	該当なし	
	23			干潟・ヨシ原の保全・再生内容・面積	進捗あり	磯河原再生実施箇所において、令和3年度までに、北伊丹地区(伊丹市)、桑津橋地区(伊丹市)、猪名川大橋地区(川西市)で累計面積42,900㎡の整備をしたことにより、磯河原再生事業が完了し、令和4年度の完了モニタリングの結果、事業効果の発現が確認されていることから、今後も引き続き監視を行い、事業効果の発現が継続するよう、河原環境の保全・創出を図っていく。
	24		内湾・汽水域・河川、琵琶湖・内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	完了	
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容	該当なし	
	26			瀬田川流堰による水位操作の改善内容	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容	該当なし	
	28		流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数	進捗あり	一庫ダムでは、一庫ダムから猪名川本川合流点までの5km区間の一部について減水区間が生じ、魚類の生息等に必要な流量が不足する状況がみられたため、平成18年度からダム下流の流況改善を目的として弾力的管理試験を実施している。ダム下流で環境改善の指標種としているオイカワについて、土砂還元と弾力的管理試験を開始して数年が経過した平成18年度以降、年によって増減はあるものの、土砂還元・弾力的管理試験開始前より個体数は増え、一庫ダム下流の実験区におけるオイカワ個体数は令和3年は665匹、令和4年は519匹、令和5年は381匹、令和6年は343匹となっている。
	29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	進捗あり	期別の取水計画に基づいて、一庫ダムより必要な水量を補給することにより、利水及び環境への深刻な影響を回避することができている。
	30	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況		水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	毎年開催している「神崎川水質汚濁対策連絡協議会 猪名川分科会」の分科会メンバーである猪名川流域の河川管理者、自治体及び住民・住民団体等が連携し行動することにより、令和6年7月に公表された令和5年近畿地方一級河川の水質現況では、猪名川の水質改善幅が7年連続で全国第1位を記録するなど、猪名川の水質向上に大きく寄与していることから、水質浄化を継続して取り組んでいる。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容	該当なし	
	32			琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果	該当なし	
	33	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	猪名川のBODの年75%値は、令和6年の値では、銀橋から猪名川橋までの全6区間で環境基準を満たしている。猪名川流域の人々に河川愛護や水質問題に関心を持ってもらうことを目的に、令和6年度には、猪名川の愛護セミナー(年1回、こんにやく橋(川西市)、池田床固下流(川西市)、桑津橋(伊丹市)の3箇所)、小学校への出前講座等(7回/年)を実施した。猪名川愛護セミナーのアンケート結果では、「いろんな水生生物を知れた」等の感想が得られ、河川環境への知識の習得機会を設けることができた。今後も引き続きこれらのイベントを継続して実施していく。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	一庫ダム(水資源機構)では、選択取水設備、平成23年4月より浅層曝気循環設備4基、平成24年4月より深層曝気設備(浅層曝気併用型)2基を運用するとともに、ダム貯水池水質調査要領に基づき、平成29年度以降も継続して、月1回の頻度で貯水池水質のモニタリング調査を行っている。一庫ダムでは、浅層曝気循環設備及び深層曝気設備(浅層曝気併用型)の運用後、平成24年以降は景観障害となるような大規模なアオコは発生しておらず、令和2年から令和6年は、貯水池内でアオコの発生はあるものの、ダムサイトや流入端など小規模の発生に留まっている。選択取水設備の運用もあり、下流利水者から力じ臭や通過障害等の報告もなされていない。
	35		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	令和2年度の定期横断測量結果等を反映した土砂動態マップでは分派地点より上流で2.2万㎡/年の土砂堆積傾向、同じく分派地点より下流で0.2万㎡/年の堆積傾向となっている。一庫ダム(水資源機構)では、平成15年度から下流河川環境改善のために洪水期への移行操作期間(例年5月)にフラッシュ放流による土砂還元を実施している。一庫ダム(水資源機構)において土砂動態の実態把握のためのモニタリングとして、貯水池の堆砂調査を継続して実施。ダム完成後42年の令和6年度時点において、堆砂率は約36.3%となっている。猪名川においては、土砂動態マップ作成からの知見を活用し、今後、土砂管理において、効率的な方法を総合土砂管理委員会で議論していく。一庫ダムにおいては、今後の状況によって堆砂除去等適時検討していく。
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし	
	37	モニタリングの実施		河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	磯河原再生モニタリング調査では、航空写真等を含む定点写真により、磯河原再生施工箇所である北伊丹地区軍行橋(伊丹市)付近の地形変化を把握している。平成21年度及び平成24年度の工事完成後、平成25年度の大規模出水等を受けて自然裸地が拡大した。平成29年度の工事後にも、平成30年7月豪雨や令和2年7月豪雨や令和5年5月豪雨など、平均年最大流量規模を超える出水を受け、現在でも自然裸地は維持されている。
	38	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	ヒメボタルの生息範囲(利倉地区(豊中市)及び軍行橋下流(伊丹市))にハリエンジュ(外来植物)が分布している。ハリエンジュ(外来植物)を駆除するにあたり、ヒメボタルへの影響を回避するために環状剥皮による駆除・モニタリングを令和元年度より行っている。令和6年度では、有識者へのヒアリングを行っており、再萌芽の伐採や癒合部の除去を行ったことでハリエンジュの枯死率が約93%であることが確認されている。今後も引き続き未枯死のハリエンジュを対象に再萌芽の伐採等を実施するとともに、既に枯死したハリエンジュの樹木伐採を実施した。
	39	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	沿川自治体、NPO、住民団体、企業等との連携・協働(19団体76名)による水質一斉調査等を実施し、猪名川町環境交流館前から神崎川までの区間(34地点)で水質が「良い」と判定された地点の比率は過去5年間、80%以上の高い状態を維持しており、流域の広い範囲で良好な水質が保たれていることが確認された。住民・住民団体と連携して活動を行ったことにより、河川環境への関心を流域の住民に広めることができた。今後も引き続き、連携を強化し充実していく。

猪名川進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
	40	流域管理に向けた継続的な施策展開	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	猪名川直轄管理区間において、周辺環境及び地域特性を考慮しつつ川らしい自然環境を保全・再生する観点に立つて、公園等の占用施設の新設及び更新許可にあたって意見を述べることを目的として、平成21年度から「猪名川・淀川河川保全利用委員会」による議論を実施している。 河川環境保全について、令和6年度の委員会において、施設管理者に対する意見が提言された。 ・つる植物(クズ)が侵入し、外来種(セイバンモロコシ)の草原となっているため、チガヤ草原等の管理目標を定めた方が良い。 ・エドヒガンは猪名川の誇る特徴的な樹種であり、そのことを市民に伝えられるようなプレートを設置して頂きたい。 ・ケヤキは大木になっており、安全管理上の支障が懸念されるため、枯れ枝の処理等の管理を検討して頂きたい。
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	令和6年の猪名川愛護セミナーは、こんにやく橋(川西市)、池田床園下流(川西市)、桑津橋(伊丹市)の3地点で同時開催し、参加者に水生生物調査、人の感覚による水質調査、簡易水質試験(ハックテスト)の体験学習を行っている。河川環境に対する知識を習得するために若手職員への積極的な参加を呼びかけていく。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	チガヤ群落は耐侵食性に優れており、治水面・環境面の両面からの効果が期待できることから、令和5年度にチガヤの基本的な生態情報、保全に有用な事例及び猪名川堤防法面のチガヤ群落の分布状況等を整理するとともに、施工業者が実施可能な保全方法を検討し、チガヤ保全の手引き(案)をとりまとめた。令和6年度は、チガヤのモニタリングを行った。なお、堤防法面のチガヤ群落の保全例は知見に乏しいことから、今後の工事で実施した成果を踏まえて、チガヤの保全方法の改善を図っていく。
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	近年では、猪名川の河川整備が進展しているとともに、内水氾濫が起きるような大規模災害は発生していないため、災害体験者からの災害状況の聞き取りはない。防災意識の啓発については、令和6年度では、マイ・タイムライン作成講習会や防災訓練をテーマとした出前講座等を実施しており、今後も引き続き住民の防災意識を高める啓発活動を実施していく。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	猪名川流域の5市では、猪名川の水位情報をリアルタイムに確認することができるよう、市庁舎内等に光ファイバーを利用したカメラ映像、雨量情報等を確認出来る端末を設置している。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	進捗あり	猪名川・淀川洪水浸水想定区域図(平成28年6月公表)をもとに、猪名川流域の5市でハザードマップを更新・公表している。令和6年度には、尼崎市にて見直しが行われている。
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	令和6年度では、住民の避難計画「マイ・タイムライン」の普及に向け、マイ・タイムライン作成講習会を、園田東生涯学習プラザ大ホールで開催し、約40名が参加した。これからもマイタイムラインを普及する講座を重点的に開催していく。
	47			地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	「猪名川水防連絡会」では、毎年の出水期前に、円滑な水防活動による水害防止または軽減することを目的として、令和6年度も関連機関とともに現地合同点検及び連絡会議を実施している。今後も引き続き関連機関と連携・協働し、水防意識の向上を図っていく。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	完了	
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	公共施設の耐水化については、想定最大規模の洪水により、園田出張所が浸水するリスクがあるため、令和6年度に、設備関係の浸水対策設計を行っている。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	「猪名川・淀川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」では、令和6年度は、猪名川・淀川の大規模氾濫を前提とした減災に係る取組方針について、流域タイムラインの見直しや多機関連携型タイムラインの作成・活用等について参加機関と情報を共有した。 また、「猪名川・淀川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」の参加機関と連携した取り組みを行うことによって、河川管理者間の地域防災力向上に向けた共通認識を深めることができた。 今後も引き続き参加機関との連携を強化し、洪水時等における円滑かつ迅速な避難確保に向けた取り組み等を実施していく。
	52		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和6年度は、淀川流域治水協議会において、流域治水プロジェクト2.0の拡充や芥川を特定都市河川の指定に向けての検討、流域治水に関する取り組みについて情報を共有した。今後も引き続き更なる流域対策の進捗に努めるとともに、推進方策等について、猪名川流域総合治水対策協議会の中で議論していく。
	53		堤防強化の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	猪名川では、「島の内水害に強いまちづくりプロジェクト」の主な対策内容である堤防拡築を進めており、令和6年度では、尼崎市東園田地区において、約75mの堤防拡築を実施した。今後も引き続き、島の内地区の水害リスクの軽減を図るため、堤防強化を進めていく。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	該当なし	
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	進捗あり	令和6年度では、尼崎市東園田地区において、約0.4kmの堤防拡築を実施した。今後も引き続き堤防拡築部で堤防天端舗装を実施していく。
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	猪名川では、上下流バランスの観点から、下流神崎川や安威川ダム of 事業進捗を踏まえ、上流兵庫県管理区間及び直轄管理区間の整備時期等について、兵庫県・大阪府と調整を図りながら事業を実施している。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	令和3年8月に変更した河川整備計画に基づき、上下流バランスに配慮しながら、戦後最大洪水である昭和35年台風16号洪水の降雨量を1.1倍とした洪水を安全に流下させる河道掘削に着手し、令和6年度では、尼崎市戸ノ内地区において、約1.0万㎡の河道掘削を実施した。
	58	高規格堤防の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の有効活用	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗なし	平成30年7月豪雨において異常洪水時防災操作を行ったことを受け、計画規模を上回る洪水等が想定された場合に、予め一庫ダムの貯水位を下げておく事前放流を令和元年9月1日から実施している。 令和6年度は事前放流および洪水調節の実績なし。
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸開の確実な操作のための取組	該当なし	

猪名川進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類 No.		点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし	猪名川では管内の樋門3基及び排水機場1基が耐震対策の対象となっており、対策については、指針の改定等の対応のための再照査及び対策設計を令和4年度から行っており、直轄3樋門で耐震性能が満足していない結果となったことから、令和5年度に、耐震性能を満足しない部位について、耐震補強工の詳細設計が全て完了。令和6年度は実施なし。	
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし		
	65			津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	進捗あり	猪名川流域内の津波浸水が想定される尼崎市及び豊中市において、尼崎市が平成26年12月に、豊中市が平成27年4月にそれぞれ津波ハザードマップを公表したことにより、猪名川流域内の市町全てで津波ハザードマップが作成され、尼崎市では、令和6年度に更新を行っている。
	66				津波情報提供設備の設置内容・設置数	完了	
	67				陸開の確実な操作のための取組	該当なし	
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っている。令和6年度の水利権許可の実績は1件。	
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表。漏水調整中に節水意識向上を図る趣旨のSNS広報を行っている。	
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗あり	一庫ダムでは、一庫ダムから猪名川本川合流点までの5km区間の一部について減水区間が生じ、魚類の生息等に必要な流量が不足する状況がみられたため、平成18年度からダム下流の流況改善を目的として弾力的管理試験を実施している。 ・令和6年度は、弾力的管理試験要領に基づき、活用貯留水を用いて畦野水位観測所地点における必要量の確保やフラッシュ放流(4回計画、1回(7/9)実施)を実施した。 ・ダム下流で環境改善の指標種としているオイカワについて、土砂還元と弾力的管理試験を開始して数年が経過した平成18年度以降、年によって増減はあるものの、土砂還元・弾力的管理試験開始前より個体数は増え、一庫ダム下流の実験区におけるオイカワ個体数は令和3年は665匹、令和4年は519匹、令和5年は381匹、令和6年は343匹となっている。	
	71		漏水への備えの強化	漏水調整の円滑化への取り組み	漏水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和3年度に淀川水系漏水対応タイムラインの試行運用を開始し、漏水への対策とその時期について行動計画を作成した。令和6年度は引き続きタイムラインの試行運用を実施した。 水道事業者間の合意により令和6年度から必要水量に応じた放流量とする運用を開始。漏水調整にはなったが取り組みの効果が発現され、期間が圧縮された。
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし		
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	不法係留船は管内に1隻確認しており、所有者に対して移動を指導中。	
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容	進捗あり	安全利用点検の結果については、補修が必要な箇所は確認されなかった。 令和6年度では、水難事故はなく、河川愛護セミナーや出前講座などのイベントを通じた啓発により、水難事故防止意識の向上に寄与しているものと考えている。今後も安全利用点検やイベント等を通じた河川利用の啓発活動を続けていく。なお、事務所が関与する子どもを対象とするイベントにおいては、必ず救命胴衣を用意するとともに着用方法を教授している。	
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用の実施内容	進捗あり	猪名川流域の小学生を対象に愛護セミナーを開催し、猪名川の水生生物調査等を通じて、水質管理や河川環境の保全・再生への取り組みを行った。令和6年度はこんにやく橋(川西市)、池田床岡下流(川西市)、桑津橋(伊丹市)の3箇所で開催し、計311名(前年160名)の参加があった。 また、アユの産卵時期の11月下旬頃に中国橋上流(尼崎市)付近において、一般住民を対象に産卵場を作る体験イベントを開催し、令和6年度は50名の参加があった。イベントの参加者からは「子どもと一緒に環境を大切にすることを学べた」等の感想を頂いた。今後も河川でしか出来ない河川環境を利用した環境学習の提供を継続的に実施していく。	
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取組内容	進捗あり	猪名川直轄管理区間において、周辺環境及び地域特性を考慮しつつ、川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、公園等の占用施設の新設及び更新許可にあたって意見を述べることを目的として、平成21年度から「猪名川・薬川河川保全利用委員会」による議論を実施している。 令和5年度の委員会での「堤防の裏法面において運動広場の利用に伴う踏み荒らし等の堤防損傷が発生していることについては、引き続き占用者から利用者に適切な利用について指導をしていただきたい。」という神津運動広場(伊丹市)についての意見に対し、令和6年度に伊丹市に対応するよう指導、伊丹市が利用者(少年野球チーム)に対して改めて複数回の指導を実施し、結果として利用者の動線が別の動線で定着、堤防損傷を生じさせていた人為的要因がなくなった。	
	77		違法行為の是正内容	進捗あり	不法工作物設置に対しては、従来より禁止警告看板の設置や是正指導を行っている。河川区域等における河川巡視の結果、令和6年度では、薬川善法寺橋歩道橋左岸下流付近において、不法投棄等の違法行為が認められたことから、今後も引き続き禁止警告看板の設置や継続的な指導を実施していく。		
	78		憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	該当なし	
	79				小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	令和6年度は実績なし。改修事業に併せて必要に応じて実施していく。
	80				迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	ゴミの持ち帰り、火気使用やゴルフ練習等の禁止など、利用上のルールを定め看板で明示している。従来から多く見られたゴルフによる迷惑行為は、令和6年度は減少しているものの、迷惑行為は継続していることから車行橋下流(伊丹市)付近等でマナーを呼びかける看板の設置や口頭指導を行っており、今後も引き続き迷惑行為防止に努めていく。
81	ホームレス対応内容・確認数	進捗あり			管内のホームレスの個別訪問を月1回以上実施し、更に、自治体福祉部局と連携して個別訪問を実施している。令和6年度現在、名神高速猪名川橋上流(伊丹市)、善法寺歩道橋下(尼崎市)で各1人のホームレスが河川敷にて起居していることを確認している。平成29年度より確認数は2名となっており、平成14年度及び平成19年度からの起居者である。今後も引き続き自治体福祉部局と連携し、退去指導を行っていく。		

猪名川進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし	
	83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	該当なし	
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	令和6年度は、出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検と評価を実施し、令和5年度の点検結果では、予防保全段階が7箇所、措置段階が0箇所となっている。令和5年度に措置段階となっていた1箇所は、令和6年度に対応済みである。 堤防等の河川管理施設は定期点検時や河川巡視時に状態を把握し、優先度を踏まえて順次補修等を行っている。今後もアセットマネジメントの視点に立って、適切な河川管理施設の機能維持のための巡視、点検・評価、補修を実施していく。 令和4年度に一庫ダムにおいて、ダム施設及び貯水池が適切に維持管理され良好な状態に保持されているか等を検査するダム定期検査(3年毎)が実施され、全体的に問題のないことが確認されている。次回は、令和7年度の予定。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	一庫ダム(水資源機構)は完成後40年が経過しており、計画堆砂量2,500千㎡のうち、令和6年度末で堆砂量は約907千㎡、堆砂率は約36.3%であり、堆砂量や堆砂の進行速度は概ね計画通りである。平成30年度の堆砂量の増加要因は、7月豪雨による影響が大きいと推測する。平成15年度から測定方法をマルチビームに変更して、測量精度の向上を図っており、平成29年度以降も継続して実施している。今後も堆砂量の継続的な監視を行うとともに、今後の状況によって、堆砂除去等を適宜検討していく。
	86	維持管理	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。設置者自らが、毎年出水期前に点検を行い、その結果は河川管理者に報告された。 点検数は、令和6年度に149件で、要補修箇所はなかった。
	87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	令和6年度は、川の流れを阻害するものや、河川管理上の支障になる樹木について、河川環境に配慮しながら、1箇所約1万㎡の樹木伐採を実施した。伐採した樹木の幹については、一般の方に配布することで、コスト削減を図っている。一般の方には、ホームページ、インスタグラム等にて、無料配布を呼びかけ10回無料配布を実施した。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	近年では、河道断面の維持管理の観点から、定期的又は出水後の定期縦横断測量結果をもとに、河道断面に著しい悪影響を及ぼす堆積箇所についてモニタリングを行っていく。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	猪名川の直轄河川管理区間におけるゴミの不法投棄については、事務所ホームページ上で不法投棄禁止の啓発を行うとともに、投棄箇所に警告のため看板設置や、ホームレスの出すゴミに対して指導を実施した。 猪名川の直轄河川管理区間における不法投棄について、令和6年度は約30㎡の不法投棄ゴミ等を処分した。今後も引き続き、投棄箇所での警告看板による啓発を実施するとともに、投棄が発生する前の事前の対策について、現場における取組の中で検討していく。

木津川下流進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	・木津川流域では、水辺に親しみやすい木津川の環境を活かした自然体験活動(木津川川ガキ団等)や小学校や高校の環境学習、過去の災害をふまえ、小学4年生の授業として学習指導要領に準拠した防災講座(マイ・タイムライン学習等)、河川美化・維持管理等を目的とする淀川水系一斉美化アクションの実施など、多岐にわたる活動を実施した。また、木津川市民祭りに木津川流域センターを活用した木津川展開催し、水辺活動の魅力を伝える多彩な活動を実施した。活動回数42回、2198名が参加した。 ・三川合流拠点のさくらであい館を拠点として活用し、三川マルシェの開催や、自然環境にふれ合える水辺の生き物探検隊や、野草教室でのよしぶえ作りを行い、地域の方たちに自然と歴史文化に触れ、体験できるワークショップを実施した。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	令和6年度は、木津川管内では、淀川水系一斉美化アクションの一環として、地域団体、企業、行政と連携した「木津川流域クリーン作戦」を実施した(536名、61団体参加)。実施予定や実施報告については地元紙で複数紹介された。そのほかの活動等を含め、延べ82団体(住民団体56、行政関係19、学校関係23)と連携を行った。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和6年度で42回(木津川では41回)、住民等と交流を行った。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	・三川合流拠点のさくらであい館を拠点とし、市民団体と協力して、春の野草教室として野草観察や、採集した野草の工作、調理・試食などの自然とふれ合える体験教室を開催した。 ・令和6年9月に木津川・恭仁大橋にて、中学生を対象とした水生生物の共同調査会を予定していたが、天候不良のため中止。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、X)で、継続的に情報発信している。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	八幡排水機場・橋本樋門見学会など、治水防災施設の役割を理解いただく活動を実施した。(7回197名が参加)
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、改修事業等と併せて実施。令和6年度は実績なし。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	淀川河川公園御幸橋野草地区において、公園利用者の利便性・快適な公園利用を図るため、公園案内のためのサイン看板2基の整備を行った。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	進捗あり	淀川河川公園御幸橋野草地区において、公園利用者の利便性・快適な公園利用を図るため、駐車場の整備を行った。
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」を61箇所に追加設置。(城陽市で23箇所、八幡市で1箇所、京田辺市で10箇所に追加設置。)それにより、京都府域での設置箇所は454箇所となった。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。なお、令和6年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック別会議1回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成しており、令和5年度より運用を行っている。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	該当なし	
	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	該当無し	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当無し	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当無し	
	17	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗有り	令和6年度は、京の川の恵みを活かす会、やましろ里山の会、京都大学防災研究所、きょうと生物多様性センター等と協同のもと、木津川の砂州の侵食・体積を促進し、水辺環境を多様化することを目的に、木津川玉水橋下流右岸の河川敷に、将棋頭型竹蛇籠を1基設置した。
	18		外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗有り	対策が必要な外来種は確認されておらず、今後の調査結果に応じて対策検討を行う。
	19		良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	平成30年度以降の不法耕作面積は約8.7万㎡であったが、令和6年度では約4.2万㎡と減少傾向となっている。不法耕作地にあった農小屋の一部は、是正看板設置や現地指導を行い、行為者による撤去が行われた。
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	該当なし	
	22		河川-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	進捗有り	令和6年度は、京の川の恵みを活かす会、やましろ里山の会、京都大学防災研究所、きょうと生物多様性センター等と協同のもと、木津川の砂州の侵食・体積を促進し、水辺環境を多様化することを目的に、木津川玉水橋下流右岸の河川敷に、将棋頭型竹蛇籠を1基設置した。
	23	河川の連続性の確保		ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	該当無し	
	24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗無し	関係機関と調整しながら、必要に応じて調査を行い、検討予定。令和6年度は実績なし。

木津川下流進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
環境	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	該当無し	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	28		流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし	
	29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当無し	
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗有り	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当無し	
	32		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗有り	令和6年度に木津川 恭仁大橋地点で水質調査(BOD)を実施。水質調査結果の平均値は0.8mg/Lであった。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当無し	
	35		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	淀川水系総合土砂管理検討委員会で総合土砂管理方策について検討。木津川上流河川事務所や水資源機構と連携した土砂管理について計画を検討中。
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし	
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗有り	令和6年度は、木津川堤防強化工事において移植を実施した貴重植物種の、植生回復の状況把握のためのモニタリング調査を行った。
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗有り	淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和6年度、淀川環境委員会に諮った工事案件数は24件であった。(うち木津川は6件)
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗有り	令和6年度は、京の川の恵みを活かす会、やましろ里山の会、京都大学防災研究所、きょうと生物多様性センター等と協同のもと、木津川の砂州の侵食・体積を促進し、水辺環境を多様化することを目的に、木津川玉水橋下流右岸の河川敷に、将棋頭型竹蛇籠を1基設置した。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗有り	令和6年度に京都府山城土地改良事務所が所管する、「府営農村地域防災減災事業八幡排水機場改修工事(仮称)」を実施するにあたり、環境委員に現地を確認頂き、環境配慮に対する指導・助言を実施した。
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗有り	生物の良好な生息・生息環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗有り	平成29年度～令和5年度に設置された中聖牛や竹蛇籠の、設置後の土砂堆積状況経年変化を調査し、環境像の把握・整理を行っている。
	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	地域・学校と連携し、ハザードマップの読み方や避難フローの考え方を学ぶ出前講座や、八幡排水機場・橋本樋門見学会など、治水防災施設の役割を理解いただく活動を実施した。(9回364名が参加)
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	台風による大雨時、水害に強い地域づくり協議会の担当者とWEB会議で気象状況や水位予測等についての情報共有を行った。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了	令和3年度で木津川下流の想定最大規模での浸水想定範囲の自治体のハザードマップの更新が終了。
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	事務所HPIにて、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している。令和5年度は市町村への支援としてマイタイムライン等の作成支援を行った。また、水害に強い地域づくり協議会にて、要配慮者利用施設での避難訓練の実施に向け訓練実施状況等の周知を行った。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	2024淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議を進めている。

木津川下流進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
治水・防災	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	自治体が管理する施設等にまるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知している。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」を61箇所を追加設置。(城陽市で23箇所、八幡市で1箇所、京田辺市で10箇所を追加設置。)それにより、京都府域での設置箇所は454箇所となった。
	52		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(京都府域)分会を設置。 令和6年度は・・・
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	令和6年度に0.4kmの浸透対策を実施した。残り2.8 kmの浸透対策を引き続き実施する。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	進捗なし	残りの侵食対策については、今後の調査検討を踏まえ、整備予定。令和6年度は実績なし。
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	桂川・宇治川の整備進捗や淀川本川の安全度を低下させないよう上下流バランスを確保しながら河道掘削等の河川改修を実施する。現在、淀川下流部の流下能力増強につながる橋梁改築を実施していることから、実施時期を検討している。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	木津川上流部及び中流部での対策と下流部での対策を併せて実施することで、整備計画目標流量を安全に流下させることができる。引き続き、整備効果の把握に努める。
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸間の確実な操作のための取組	該当なし	指標に陸間と記載があり、木津川に対象施設がないため
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	各施設の耐震性能照査を実施し、要対策施設について対策内容を検討している。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	進捗あり	令和6年度に1.2kmの緊急河川敷道路を整備した。残整備区間については実施時期を検討している。
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
	67			陸間の確実な操作のための取組	該当なし	
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗無し	
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	該当なし	
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗なし	引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	該当なし	
	72		水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし	
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	現在、不法係留は確認されておらず、引き続き、秩序ある水面利用を促す。

木津川下流進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
利用	74	川らしい利用の促進	川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに7箇所 の補修を実施した。保育園・小学校などで着衣泳・PFD着用などの出前講座や水辺活動時の安全指導及び啓発活動を15回実施した。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗有り	令和6年9月に木津川・恭仁大橋にて、中高生を対象とした水生生物の共同調査会を予定していたが、天候不良のため中止。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	木津川の高水敷利用について、自治体が占用する公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。委員からは城陽市木津川河川敷運動広場における「環境学習や自然観察会」に高評価をいただいた。また、「設置する看板に対する意見、「木津川の特性である砂河川の河原を生かした利活用」などの意見をいただき、施設や管理の改善について、占用者に指導・助言を実施した。
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	木津川においては、平成30年度の不法耕作面積は約8.7万㎡であったが、是正指導看板の設置や現地指導の実施に伴い是正を継続し、令和6年度では、約4.2万㎡と減少傾向となっている。不法耕作地にある工作物に対しては、是正看板設置や現地指導を行い、行為者自身による撤去が行われた。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	・令和5年に「八幡市かわまちづくり計画」が登録され、現在事業を実施中。令和6年度は背割堤船着場横に階段護岸を整備。 ・平成31年に「和東町木津川かわまちづくり」が登録され、現在事業を実施中。
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占用された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和5年度での整備実績はなし。
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	木津川において、ラジコン飛行機や車両によるオフロード走行等の迷惑行為が行われており、休日巡視を含めた現地での口頭指導、侵入防止対策を行った。またラジコン飛行機は、ほぼ見られなくなっている。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	令和6年度は1名の起居が確認されている。引き続き定期的に巡回するとともに、福祉部局とも情報交換を実施している。
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし	
	83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	・「八幡市かわまちづくり計画」が令和5年8月10日に登録され、計画に基づく整備を実施中。令和6年10月「八幡市かわまちづくり協議会」が設立され、八幡市内観光資源を活かした淀川舟運の中継港としての賑わいづくりを展開中。 ・平成31年に「和東町木津川かわまちづくり」が登録され、現在事業を実施中。
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	安全利用点検結果をもとに7箇所 の補修を実施した。保育園・小学校などで着衣泳・PFD着用などの出前講座や水辺活動時の安全指導及び啓発活動を15回実施した。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	該当なし	
	86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和6年度は橋梁、樋門等許可工作物63施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が19施設、予防保全段階が9施設あった。
	87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	木津川下流域全体で令和5年度～令和6年度にかけて、94,000千㎡伐採した。このときの伐採箇所はすべて流水阻害対象樹木群であった。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断測量等モニタリングを実施。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では、令和5年度で約80㎡、令和6年度で約30㎡のゴミを処理。

木津川上流進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
人と川 のつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	地元小学校の防災学習の授業において河川レンジャーと連携して、上野遊水地管理センター及び遊水地において防災学習を実施した。令和6年は28人が参加。 また、名張市や地元NPO団体法人と連携し、名張の一大環境活動である「名張クリーン大作戦」を実施した。併せて地元環境を紹介する観察会を行った。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	名張市内のNPOと連携して、留い川簡易魚道作成を実施した。今年は初めて地元の小学生ら17名が参加し、簡易魚道設置作業を体験してもらいました。(参加者約80名) また、上野商工会議所等地元の団体が主催する「市民夏のにぎわいフェスタ2024」に参加し、川のいきものふれあいコーナー(水生生物の調査体験)と照明車の展示を行いました。イベント全体で約35000人の参加があり、展示ブースの参加者は約400人以上であった。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	木津川上流河川事務所管内では河川レンジャー5名が在籍し、木津川上流域で活動をおこなっており、令和6年度は19回、住民等と交流を行った。河川レンジャーと連携して、木津川の自然環境への関心を高めるとともに、地域ぐるみの環境教育を活性化している。
	4		子供達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	令和6年度は名張市立桔梗が丘南小学校及び宇陀市立大宇陀小学校にて川の環境、防災について出前講座を実施。毎年、海の日に、186名の方が親子で水生生物調査に参加。子供たちへの教育の一環として、今後も継続して環境教育を実施していく。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取組		令和6年度、HP、X(旧Twitter)合わせて89件の情報発信を行った。中でも12月5日に配信した木津川上下流交流イベントの募集告知の投稿を見た人が4444人で年間通して一番多く関心の高さが伺えた。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	下流域の方々に対し、上流にどのようなインフラ施設があるのかを知ってもらうバスツアーを、上下流交流イベントとして開催しました。八幡市内の16名の親子が参加し、楽しみながら木津川上流のことを知って頂くことが出来た。また、地域イベントに出展した際、かわまちづくりのポスター等を掲示し来場者に見てもらうとともに事業後の活用イメージなどを説明し、災害対策だけでなく新たな観光拠点となることについて地域住民の理解を得られるようにした。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	改修事業に併せ実施していく予定。令和6年度は実績なし。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗なし	R6年度は、トイレ・スロープ等の設置事例なし。 名張かわまちづくりにおいて、自治体と連携しスロープやベンチ等、憩い・安らげる河川の整備を実施していく予定。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし	
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報の発信	まるとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	令和6年度は既存の伊賀市鍵屋の辻の浸水記録板の更新及び京都府相楽郡笠置町の笠置保育所に設置。 内外水一体型リスクマップを作成(伊賀市、名張市)
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	減災対策協議会(平成28年設立)は、令和6年度2回の協議会を開催(累計17回)。流域治水プロジェクト2.0の更新に伴い、木津川上流域のさらなる推進について意見交換を行った。また、関係機関と連携して伊賀市マイ・タイムライン講習会を開催した。
	12		上下流交流の促進	水源地ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	令和6年度においても、各ダムにおいて、小学生や一般来訪者の施設見学受入れを実施。また、布目ダムでは地域に親しまれるダムを目指し、地元観光協会等と協力して施設見学会を開催し、湖面巡視体験、堤体内見学、パネル展示などにより、ダムや水源地域の魅力について発信した。
	13	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数	該当なし	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容	該当なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容	進捗あり	川上ダムの建設に伴い、平成28年移転開始以降、令和4年末までに565個体の移転を実施。令和6年度調査迄で、遡上路を設置した全ての堰(11箇所)においてオオサンショウウオの遡上を確認しており、人工巢穴32箇所のうち29箇所で利用を確認した。
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数	該当なし	
	17		生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容(回数)	進捗あり	水資源機構・名張市や地元NPO団体と協同し、ナマズの産卵期に留い川の簡易魚道作成を昨年度に引き続き実施した。今年は初めて地元の小学生ら17名が参加し、簡易魚道設置作業を体験してもらいました。(参加者約80名)
	18		外来種対策の実施	外来種対策の実施	進捗あり	今年度の産卵床調査(UAV 空撮と潜水目視)ではコクチバスの産卵床と親魚は確認されなかった。コクチバスの稚魚は木津川、服部川、および宇陀川で計703 個体を確認された。 確認されたコクチバスの稚魚は捕獲し、駆除した。また、その他の特定外来生物として、オオクチバスの稚魚1 個体を捕獲し、駆除した。また、外来種対策促進のため関係機関向けのコクチバス調査・駆除の手引きを作成した。
	19		良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容	該当なし	
	20			河川景観を損ねている不法工作物の計画的な正やゴミの不法投棄の防止状況・対策箇所数	進捗あり	令和6年度も、ゴミが捨てられている場所や種類の現状を分析したゴミマップを作成し、河川ゴミの削減に向け、流域住民に当事者意識を感じてもらえるよう周知・啓発に努めている。
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数	進捗なし	高山ダムの貯水池内法面侵食防止と湖岸緑化を目的に土留柵等の設置(H21年度)。現在、水位低下後の法面裸地において、緑化がはかられている。令和6年度は実績なし。
	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数	該当なし	
	23			干潟・ヨシ原の保全・再生内容・面積	該当なし	
	24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗あり	ナマズの産卵期に留い川の簡易魚道作成を昨年度に引き続き実施した。上流水路でナマズ及び産卵に適した環境を確認した。

木津川上流進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
環境	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容	該当なし	
	28		流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数	進捗あり	令和6年度は、高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム、比奈知ダムにてフラッシュ放流を実施した。また、高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダムでは土砂還元を実施した。
	29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし	
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討内容	進捗あり	地域の子どもたちに対して、川への関心向上及び水質保全活動推進を目的として、海の日に稲広橋で水生生物調査、バックテスト(簡易水質検査)等を実施。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容	該当なし	
	32		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果	該当なし	
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	情報共有ツールとして支川を含む流域の水質汚濁状況を直感的に把握できる水質見える化マップを更新しHPへ掲載している。また、水生生物を指標として河川の水質を評価し、また、住民や子供たちの身近な環境問題への関心を高めるため、地域の方々の協力を頂きながら稲広橋にて水生生物調査を毎年(令和5年で30回目)継続的に実施している。今年度は186人の参加者があった。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	木津川上流ダム(高山ダム、布目ダム、室生ダム、青蓮寺ダム、比奈知ダム、川上ダム)では水質保全対策の継続実施により、平成30年度～令和6年度において、アオコ・淡水赤潮による大規模な水質障害は発生していない。
	35		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	木津川大河原地区について、土砂動態のモニタリング調査を実施予定。 また、令和4年4月、木津川上流ダム群土砂管理懇談会にて、川上ダムの代替補給容量を用い、既設ダムの水位を低下させて実施する効率的な堆砂除去の基本方針を作成した。現時点では、川上ダムが試験湛水中であるため、川上ダムの代替補給容量を利用した堆砂除去は実施できていない。
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	進捗あり	・透過型堰堤については設計検討中。 ・現在着手中の堰堤は以下の通り。 ○三本松砂防堰堤(不透過堰堤) ・完成 ○谷出第3砂防堰堤(不透過堰堤) ・完成 ○大野砂防堰堤(不透過堰堤) ・令和7年度完成予定 ○坂ノ下第3砂防堰堤(不透過堰堤) ・完成
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗なし	
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所数	進捗あり	工事を実施する箇所において、「特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針2012(三重県教育委員会・奈良県教育委員会、平成24年)」に基づき、国指定特別天然記念物のオオサンショウウオの生息状況を確認するとともに、生息が確認された際には、個体を一時的に捕獲・保護し、DNA分析によって在来種であった場合は工事の影響がない場所に移動・放流することを目的としてオオサンショウウオ保護調査を実施している。 令和6年度は、名張管内2件の工事が保護調査の対象となり内1件においてオオサンショウウオの生息が確認されたが、保護が困難な水深の地点であったためオオサンショウウオに配慮した施工を行った。
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	名張市や地元NPO団体法人与自然連携し、名張の一大環境活動である「名張クリーン大作戦」を実施した。水資源機構・名張市や地元NPO団体と協同し、ナマズの産卵期に留い川の簡易魚道作成を昨年度に引き続き実施した。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	該当なし	
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	地元団体主催のもと、水生生物調査を行い、事務所職員も協力することで、河川環境への学習及び関心を高めている。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	総合土砂管理WGにて、木津川大河原地区にて置き砂試験施工の経過報告を行い、今後の方針について意見をいただいた。
危機管理体制の構築	43	危機管理体制の構築	災害対応プログラムの作成内容 (災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	流域治水プロジェクトとして、伊賀市と連携してマイ・タイムラインの作成に係る講習会を実施した。令和6年度は35名の参加があった。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	出水時における木津川上流河川事務所と関係自治体との連携体制と災害対応の強化を図るため、水防テレビコミュニケーション、ホットラインを実施。
	45			ハザードマップ作成内容・フォローアップ	進捗あり	令和6年度、内外水一体型リスクマップを作成(伊賀市、名張市)
	46				進捗なし	
	47			地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容	該当なし	
			破堤氾濫に備えての被害の軽減対策、避難体制の確立			

木津川上流進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
治水・防災	48	河川管理施設の保全		水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	令和6年度も継続して、伊賀市と国交省合同の排水ポンプ車等災害対策用機械の操作訓練を実施した。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗無し	水防拠点の整備について、令和6年度は実績無し
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	令和6年度は既存の伊賀市鍵屋の辻の浸水記録板の更新及び京都府相楽郡笠置町の笠置保育所に設置。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	7月と8月に関係機関と重要水防箇所現地点検を実施。
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	進捗あり	減災対策協議会(平成28年設立)は、令和6年度2回の協議会を開催(累計17回)。流域治水プロジェクト2.0の更新に伴い、木津川上流域のさらなる推進について意見交換を行った。また、関係機関と連携して伊賀市マイ・タイムライン講習会を開催した。
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、浸食対策実施内容・延長	完了	
	54			堤防天端以下、浸食対策実施内容・延長	該当なし	
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	進捗無し	堤防整備に合わせて実施を予定している。
	56	川の中で洪水を安全に 流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	該当なし	
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	伊賀上野地区において、服部川の河道掘削及び三田地区で引堤を行っている。R6年度は約18,000m3の掘削、および仮橋・築堤の施工を進めた。 名張管内においても引堤事業を進めており、黒田大橋～黒田橋間の築堤は完成した。
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	進捗あり	令和6年度、坂ノ下第3砂防堰堤が完成した。 大野砂防堰堤について、現在整備中。
	60	既設ダム等の運用の検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗あり	台風10号に伴う降雨に対して、室生ダムで事前放流を実施した。また、7/15の前線により布目ダムが、8/29の台風10号により川上ダムが洪水調節を実施し、ダム下流河川水位を低減させた。
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗なし	堤防整備、河道掘削等洪水に対する流下整備について優先的に実施しており、今後、樋門・排水機場について耐震照査を行い、必要な対策を検討していく。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし	
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
	67			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗なし	
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗なし	
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗なし	川上ダム建設事業の完了に伴い、安定した水道用水の供給が可能となった。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗なし	

木津川上流進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし	<div></div>
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗なし	
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	危険箇所と判断される箇所には、注意喚起看板の設置や水難事故防止の看板を設置して川の利用者に注意を呼びかけている。また、令和6年度も安全利用点検結果をもとに、補修を実施している。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	河川レンジャー活動、水生生物調査、名張クリーン作戦を行った。 R6年度においても、市や地元NPO団体や河川レンジャー等と協同で水生生物調査・名張クリーン大作戦(河川清掃)を実施した。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組 (川らしい河川敷利用)	河川保全利用の取り組み内容・回数	進捗なし	河川保全利用の取り組みに向けての内容。令和6年度は実績なし。
	77			違法行為の是正内容	進捗なし	令和6年度は問題となる違法行為の確認実績無し。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗無し	名張かわまちづくり一体型浸水対策事業を令和元年より整備中であり、かわまちづくりのハード整備として水辺の整備を行っている。令和6年度も引き続き実績無し。
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗無し	昨年に引き続き、歩行者等が河川に沿って容易に移動でき、安全に水辺に近づけるよう、小径(散策路)の整備を継続して実施する。令和6年度は実績無し。
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗なし	憩い、安らげる河川の整備に向けた、迷惑行為の是正を行う。令和6年度は実績なし。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗なし	憩い、安らげる河川の整備に向けた、ホームレス対応を行う。令和6年度は実績なし。
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗無し	まちづくりや地域連携の取り組みとして、歴史文化と調和した河川整備を目指す。令和6年度は施工実績なし。
	83			水辺を活かしたまちづくりの取り組み内容	進捗あり	木津川上流では、名張川河川改修により創出される河川空間と、地域活性化や観光振興を推進するまちづくりが一体となり、地域の新たなにぎわいを創出する空間づくりを目指すべく、平成30年度に名張市の名張かわまちづくり計画が登録され、計画に基づく整備を実施している。親水護岸、桜並木、親水広場、堤内地の案内サイン等を整備し、川を活かした地域づくりを実施中。 R6年度については、名張かわまちづくり計画において、地域振興拠点が追加されたことにより、令和 6 年 8 月 8 日に計画が変更登録されました。
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数 堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検・評価を実施した。令和6年度の堤防及び護岸の点検結果は、要監視段階が369箇所、予防保全段階が2箇所、措置段階が3箇所であった。同じく樋門等の点検結果は、要監視段階100箇所、予防保全段階及び措置段階は0箇所だった。 高山ダムにおいてダム定期検査を実施した。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗なし	高山ダム(5,649/7,600千m3)、比奈知ダム(851/2,400千m3)では、目安堆砂量に対する進行速度が1.0倍以上となっている。今後、ダムの長寿命化施策として、現在建設中の川上ダムの代替容量を用いて、各ダムの堆砂対策を順次実施していく。(現行堆砂量/計画堆砂量) 現時点では、川上ダムが試験湛水中であるため、川上ダムの代替補給容量を利用した堆砂除去は実施できていない。
	86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。 設置者自らが、毎年出水期前に点検を実施。令和6年度の点検結果は、203箇所の施設を点検した。補修計画が定まっていない施設については作成の指導を行った。
	87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	竹の再繁茂抑制対策の試験施工のため、約100m2を伐採。(近畿技術事務所発注業務) また、伐竹後の伐採材をバイオマス発電施設に搬出し、コスト縮減および発電用の燃料になることを確認した。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	宇陀川室生大野区において、4.8千m3の堆積土砂の除去を行った。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	河川区域等における違法行為の発見堤防や護岸等の変状の発見、河川内の環境や利用に関する情報収集等を目的に河川巡視を実施している。また、啓発活動の一環として、令和6年にゴミマップを更新し啓発している。

淀川本川進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
環境	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	進捗有り	令和6年度に鳥飼地区の既存ワンド整備(機能改善)を行った。 また、令和元年度～2年度に、阪神なんば線淀川橋梁架替事業に係る浚渫土を活用し、淀川汽水域の河口域において人工干潟の再生を実施し、令和3～6年度にモニタリング調査を実施しているところであり、令和6年度の調査では、干潟環境を望む生物が確認された。
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	進捗有り	令和6年度は、鵜殿地区において、環境委員の助言のもと、切下げ整備(3,500㎡)を行った。 現在ヨシの生育段階であるため経過観察中であり、順次モニタリングを行い効果検証を行う。
	24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗無し	関係機関と調整しながら、必要に応じて調査を行い、検討予定。令和6年度は実績なし。
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	進捗有り	アユの遡上の促進とコイ・フナの産卵促進を目的とした、淀川大堰の水位管理を行った。 大川の水位が高い大潮満潮時に水位を低下させて、水位差を小さくすることで、遡上環境改善を実施し、上下流の水位差が小さい時に遡上率が高くなることが確認された。
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	28		流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし	
	29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	進捗無し	大川や神崎川、寝屋川への影響を含めた河川環境上必要な流量の検討を行う。令和6年度は実績なし。
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗有り	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	32		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗有り	令和6年度に淀川 枚方大橋中央で水質調査(BOD)を実施。水質調査結果の平均値は1.0mg/Lであった。
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし	
	35			河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	該当なし	
	36		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし	
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	令和6年度は、鵜殿地区において、植生分布調査や地下水位・水位物理環境調査を実施した。また、淀川汽水域において、水質の現状と生物の現状を把握するため、水際部の調査や大型底生動物、貝類等の調査を行った。
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗有り	鳥飼地区において、既存ワンドの水域の連続性の確保や、樹林化したワンドの水域再生を実施した。 淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。 令和6年度、淀川環境委員会に諮った工事案件数は24件だった。(うち淀川本川及び淀川支川は10件)
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗有り	令和6年10月に城北わんどにおいて、淀川河川事務所主催、市民団体・企業・地元住民との連携による「淀川わんどクリーン大作戦」を行い、約170名が参加した。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗有り	令和6年に大阪市が管理する「中部・西部排水管撤去工事(仮称)」について、環境委員に現地を確認頂き、環境配慮に対する指導・助言を実施した。
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗有り	生物の良好な生息・生息環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗有り	令和6年度も環境情報として、鵜殿地区ヨシ原保全再生箇所の植生分布調査等を実施し、評価・フィードバックを行っている。
	43			災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	自治体、自治会、学校、図書館等と連携し、防災イベント、防災勉強会、出前授業等で河川レンジャーが浸水地歩行体験、マイ・タイムライン作成、ハザードマップ学習等の指導を行った。令和6年度は47回実施、4026人が参加した。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	台風接近時に、水害に強い地域づくり協議会の担当者とWEB会議で、台風による影響の可能性について情報共有を行った。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了	令和3年度で淀川の想定最大規模での浸水想定範囲の自治体のハザードマップの更新が終了。

淀川本川進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
治水・防災	46	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	事務所HPIにて、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している。今年度は市町村への支援としてマイタイムライン等の作成支援を行った。また、水害に強い地域づくり協議会にて、要配慮者利用施設での避難訓練の実施に向け訓練実施状況等の周知を行った。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	進捗なし	市町村防災会議や地域防災計画更新の際に、地下空間への浸水対策に関する助言や技術的支援を行う。今年度は実績なし。
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	2024淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。あわせて、摂津市鳥飼地区における「河川防災ステーション整備計画」が登録され、摂津市と連携して事業を推進している。また、全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議を進めている。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	自治体が管理する施設等にもるごまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知している。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	出前講座やマイ・タイムラインの作成支援等も継続的に行っており、今年度は枚方市で実施した。
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(大阪府域)分会を設置。令和6年度は・・・
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	残りの浸透対策については阪神なんば線淀川橋梁事業および淀川左岸線2期事業と重複整備区間のため、事業間調整を行い整備予定。引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	進捗なし	残りの侵食対策については、今後の調査検討を踏まえ、必要に応じて整備を行う。
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	淀川本川では、流下能力を向上させるために平成30年度から阪神なんば線淀川橋梁の架け替えに着手した。また、令和3年8月に変更した淀川水系河川整備計画に新たな整備を位置付け推進中。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	淀川下流部の流下能力を向上させるため、阪神なんば線淀川橋梁(1箇所)の橋梁嵩上げを実施中。引き続き、整備効果の把握に努める。
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	進捗あり	大宮東地区では高規格堤防整備(延長:130m)を実施中。下島地区は令和6年度より高規格堤防整備(延長:260m)に着手した。
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	進捗あり	阪神なんば線淀川橋梁(1箇所)において、橋梁の嵩上げを実施中。
	62			陸開の確実な操作のための取組	進捗あり	淀川・神崎川及び左門殿川防潮扉点検操作訓練を関係する28機関合同で毎年実施。
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	令和2年に淀川大堰、令和3年に淀川陸開、伝法陸開、阪神陸開の耐震対策が完了。また、地震時の陸上輸送の遮断に対応するための代替ルートを確認する淀川大堰開門事業に令和3年度より着手し、令和6年度に概成した。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	進捗あり	淀川左岸部の国道176号～JR上淀橋(JR東海道本線)の緊急道未整備区間2.2kmについては、淀川左岸線2期事業と重複整備区間のため、整備に向けて事業間調整を進めている。
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	進捗あり	大阪府及び大阪市において、各機関のHP上で平成25年8月公表結果を公開している。なお、国土交通省では、「津波浸水想定の設定の手引き」を随時更新を行っていることから、最新の手引き等を情報提供を行う。
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	進捗あり	設置に向けて、提供内容等の検討を行っている。
	67			陸開の確実な操作のための取組	進捗あり	淀川・神崎川及び左門殿川防潮扉点検操作訓練を関係する28機関合同で毎年実施。
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗無し	
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率及び節水への協力依頼をホームページに掲載するとともに、各種イベントでのパネル展示などにより、ダムの役割(治水・水道・発電)への意識向上を図っている。また淀川ダム統合管理事務所にて既設ダム群の操作指示を行うことにより効率的な用水補給を実施している。
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	完了	天ヶ瀬ダム再開発事業は令和4年8月に運用開始済み。引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。

淀川本川進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和5年度は昨年度に引き続きタイムラインの試行運用を実施した。 令和6年度は…
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	進捗あり	淀川舟運活性化協議会が主催となり、10月16日に万博開幕6ヶ月前イベントを実施。また3月16日に万博開幕1ヶ月前イベントとして、十三緊急船着場の完成及び淀川大堰閘門通航開始を発表した。また、9月3日大阪880万人訓練にあわせて、大阪府・大阪市と連携し、舟運を活用した物資輸送訓練を実施した。
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	現在、不法係留は確認されておらず、引き続き、秩序ある水面利用を促す。
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに14箇所の補修を実施した。小学校での着衣泳・PFD着用などの出前講座や水辺活動時の安全指導及び啓発活動を25回実施。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗有り	令和6年9月に十三千潟にて、中高生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	淀川本川の高水敷利用について、自治体が占有する緑地等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。委員からは「環境学習の場として前向きに検討されたい」などの意見をいただき、占有者に管理の改善について指導・助言を実施した。また新規案件である十三エリアの整備に関して「十三千潟を活用した環境教育の利用」「利用者の増加に伴う騒音等への対策」「賑わいゾーンと保全ゾーンのバランスをとったエリアの見せ方」などの意見をいただき、占用予定者に施設整備について指導・助言を実施した。
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	淀川本川(大阪府域)の不法耕作面積は、令和6年度末時点で約5,740㎡である。通常巡視に加え、職員が個別に現地に対応し、口頭指導、禁止看板の設置等を実施している。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	・平成21年度にかわまちづくり支援制度が創設され、河川管理者がハード・ソフト面での支援を行っている。 令和4年度に「淀川河川敷十三エリアかわまちづくり」が登録され、令和5年度には「淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり」が新規登録された。 ・十三では令和6年度に裏法面盛土工事、緊急用船着場整備工事が完了。枚方では、令和6年度に多自然池の再整備、移動式快適トイレ2基設置、園路の拡幅が完了。
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占用された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和5年度での整備実績はなし。
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	該当なし	令和6年度末時点で34名となっており、今後も定期的に巡回するとともに、福祉部局とも情報交換を実施していく。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし	淀川河川敷十三エリアは、令和6年3月に都市・地域再生等利用区域指定され、3月16日、十三船着場の利用開始を記念したテープカットを実施。淀川河川敷枚方エリアは、令和6年4月に「淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり協議会」が設立され、協議会は1回、WGIは3回実施された。
	83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。 抽出された変状毎の2次評価結果では、令和6年度末時点で、予防保全段階53箇所、措置段階0箇所となっている。 また、毛馬排水機場のポンプ設備について、計画的な整備を行っており、令和6年度に、振動やインペラハブの腐食減肉等により、3号ポンプの分解整備に着手した。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	該当なし	
	86	維持管理	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和5年度は橋梁、樋門等許可工作物121施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が20施設、予防保全段階が15施設あった。
	87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	淀川本川全体で令和5年度～令和6年度にかけて、272,000千㎡伐採した。このときの伐採箇所はすべて流水阻害対象樹木群であった。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	淀川本川において、当面は 10.0km から三川合流点のうち、航路を確保する必要のあるところについては堆積土砂の除去対策を実施している。なお、その際、砂利採取規制計画に定める範囲内において、砂利採取を認めている。 令和4年度～令和5年度で約29.5万㎡の堆積土砂撤去を実施。 河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断測量等モニタリングを実施。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では、令和5年度で約460㎡、令和6年度で約520㎡のゴミを処理。

宇治川進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	・宇治川流域では、平成15年より現在まで継続して実施している京都伏見ジュニア河川レンジャーの取り組みの他、小学校において地域の川を学ぶ総合学習や、地域の防災訓練への出展などを実施した。令和6年度は活動回数20回、2557名が参加した。 ・三川合流拠点のさくらであい館を拠点として活用し、三川マルシェの開催や、自然環境にふれ合える水辺の生き物探検隊や、野草教室でのよしぶえ作りを行い、地域の方たちに自然と歴史文化に触れ、体験できるワークショップを実施した。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	自治体、地域団体と連携し、広報、ごみ処理、掃除道具の手配、当日の運営、安全管理等を分担して、河川清掃活動等を実施。そのほかの活動等を含め、延べ58団体(住民団体28、行政関係17、学校関係13)と連携を行った。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和6年度で256回(宇治川では20回)、住民等と交流を行った。 京都環境フェスティバル2025に河川レンジャーが出演し、京都府域で連携して活動を行っている学校団体・クラブ他とともに環境保全、川ゴミ対策等の河川レンジャー取り組み発表や、淡水魚の生体展示などで、河川の魅力発信を行った。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	・令和6年10月に宇治川・宇治橋下流にて、中高生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。 ・自治体、学校等と連携し、防災イベント、出前授業等で河川レンジャーが浸水地歩行体験等を行った。令和6年度は6回実施、546人が参加した。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	・三川合流拠点のさくらであい館を拠点とし、市民団体と協力して、春の野草教室として野草観察や、採集した野草の工作、調理・試食などの自然とふれ合える体験教室を実施した。 河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、X)で、継続的に情報発信している。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	自治体、学校等と連携し、防災イベント、出前授業等で河川レンジャーが浸水地歩行体験等を行った。令和6年度は6回実施、546人が参加した。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、改修事業等と併せて実施。今年度は実績なし。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	三川合流部の背割堤地区では、堤防上の桜の樹木点検などを実施し、地域の方たちや来園者に、憩い、安らげる、良好な河川空間の確保に努めている。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	進捗あり	背割堤地区さくらであい館にて、引き続き、淀川三川さくらレンタサイクルを実施している。
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」を61箇所に追加設置。(久御山町で3箇所に追加設置。)それにより、京都府域での設置箇所は454箇所となった。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。 なお、今年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック別会議1回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。 また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成しており、令和5年度より運用を行っている。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	水辺空間を活かしたイベントの開催(京のセタin宇治、淀川クルーズFESTIVALでの天ヶ瀬ダムキャットウォーク&うじがわ川下り体験)
	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全		イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	該当無し	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当無し	令和5年に、工事後5年目のモニタリング調査の最終的な評価・とりまとめを行った。令和6年は該当無し。
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当無し	
	17	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗有り	令和2年度より京都府の助言の元、外来種のアルゼンチンアリの駆除対策として、宇治川右岸域の伏見地区において駆除剤を設置。令和6年度は防除対策を継続。
	18		外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗有り	京都府やほか関係機関と協同で「アルゼンチンアリ根絶協議会」を設立し、定期的に分布範囲の調査や、効率的な防除対策について検討している。
	19		良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	宇治川の令和6年度末時点の不法耕作面積は約880㎡となっており、減少傾向にある。
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	進捗あり	平成27年度に実施した試験施工箇所について、定期的に確認を行った。

宇治川進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
環境	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	該当無し	
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	該当無し	
	24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗無し	
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	該当無し	関係機関と調整しながら、必要に応じて調査を行い、検討予定。令和6年度は実績なし。
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	28		流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし	
	29		河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当無し	
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗有り	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当無し	
	32		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	令和6年度に宇治川 宇治橋地点で水質調査(BOD)を実施。水質調査結果の平均値は0.8mg/Lであった。
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗有り	
	34			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	
	35			河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	
	36		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし	令和5年に、工事後5年目のモニタリング調査の最終的な評価・とりまとめを行った。令和6年は該当無し。
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	該当無し	
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗有り	
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗有り	
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗無し	
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗有り	
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗有り	毎年簡易水質調査を実施している。令和6年度も水生生物による簡易水質調査で水質階級を判定し、経年変化を調査・把握し、データの蓄積を行っている。
	43			災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	自治体、学校等と連携し、防災イベント、出前授業等で河川レンジャーが浸水地歩行体験等を行った。令和6年度は6回実施、546人が参加した。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	台風10号による大雨時、水害に強い地域づくり協議会の担当者とWEB会議で気象状況や水位予測等についての情報共有を行った。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了	
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	事務所HPIにて、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している。今年度は水害に強い地域づくり協議会にて、要配慮者利用施設での避難訓練の実施に向け訓練実施状況等の周知を行った。

宇治川進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
治水・防災	47	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし	2024淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施。
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議を進めており、具体的には久御山町と防災ステーションの計画策定に向けて議論を進めている。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	自治体が管理する施設等にまるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知している。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」を61箇所に追加設置。(久御山町で3箇所に追加設置。)それにより、京都府域での設置箇所は454箇所となった。
	52		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(京都府域)分会を設置。 令和6年度は・・・
	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。
	54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	進捗なし	残りの侵食対策については、今後の調査検討を踏まえ、整備予定。令和5年度は実績なし。 令和6年度は・・・
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	令和3年8月の整備計画変更により、塔の島地区の河川改修に引き続き、河道掘削等を実施する。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	塔の島地区河川改修が完了したことで、昭和28年台風13号洪水を目標とする流下能力を確保しており、令和3年8月の整備計画変更により、平成25年台風18号洪水を目標とする流下能力の確保に向け、河道掘削等を推進する。 引き続き、整備効果の把握に努める。
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし	
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗なし	令和4年度に、天ヶ瀬ダム再開発事業が完成し、令和4年8月より運用開始。これに伴い、より大きな洪水に対して洪水調節機能を効果的に発揮することができるようになった。令和5年度は洪水調節の実績なし。 令和6年度は・・・
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸間の確実な操作のための取組	該当なし	指標に陸間と記載があり、宇治川に対象施設がないため
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	各施設の耐震性能照査を実施し、要対策施設について対策内容を検討している。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし	
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
	67			陸間の確実な操作のための取組	該当なし	指標に陸間と記載があり、宇治川に対象施設がないため
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っている。令和5年度の水利権許可の実績は0件。 令和6年度は・・・
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗無し	
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗なし	天ヶ瀬ダム再開発事業は令和4年8月に運用開始済み。 引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。

宇治川進捗点検結果(令和6年度の点検結果)

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和6年度進捗	令和6年度 点検結果
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗無し	
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	進捗あり	淀川舟運活性化協議会が主催となり、10月16日に淀川沿川各地のイベントを観光船や水上アクティビティで繋ぐ淀川クルーズFESTIVALを開催しました。また、同日に京都伏見～枚方船着場までの航路が62年ぶりに復活したことを発表した。
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	現状、宇治川では不法係留は見られないが、今後、船舶の航行などの水面利用が見込まれるため、引き続き秩序ある水面利用を促す。
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに2箇所 の補修を実施した。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗有り	令和6年10月に宇治川・宇治橋下流にて、中高生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	宇治川の高水敷利用について、自治体が占有する公園等を審議対象とし、河川保全利用委員会を開催。委員からは前回審議以降の改善に高評価をいただいた。また注意喚起看板の効果的な配置、看板だけに頼らない啓発などの意見をいただき、占有者に対して施設の改善について指導・助言を実施した。
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	宇治川において、令和6年度の不法耕作面積は約1,028㎡となっており、新たな耕作地の発見により耕作面積は増となっている。引き続き定期的な現地確認、看板の設置を進める。
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	宇治市天ヶ瀬ダム地区では令和6年度に階段護岸の整備が完了。伏見区では令和6年度に親水護岸整備、親水空間整備を実施。八幡市では背割堤船着場横に階段護岸の整備完了。
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占用された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和6年度での整備実績はなし。
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	2箇所において危険なゴルフの迷惑行為が行われていたが、現地での口頭指導及び禁止看板の設置を行った。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	宇治川では定期的に巡回を実施したことにより、ホームレスの人数は令和6年度で2名となっている。
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	塔の島地区では、平成21年度より付近の景観や環境に配慮した河川改修を開始し、平成28年度からは宇治公園でも上面整備を実施。令和元年度完了。令和3年度には、治水と景観の一体的整備を行ったモデルとして高く評価され、近畿地方整備局が事業主体の河川整備事業において初めて、グッドデザイン賞を受賞した。引き続き、地域と連携し、歴史文化と調和した河川整備に努めている。
	83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	宇治市天ヶ瀬ダム地区は、令和6年2月に「宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会」を設立。協議会は3回、WGは3回実施し、かわまちづくり計画を推進中。伏見は令和6年度に親水空間を活用したい事業者と対話を実施し、事業者からの提案や地区の課題等を整理している。八幡は令和6年10月に「八幡市かわまちづくり協議会」を設立し、協議会1回WG2回を開催。事業者を交えて賑わいづくりの方針を検討している。
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	天ヶ瀬ダムにおいては、点検整備基準に基づく点検とともに、長寿命化計画に基づき、維持修繕・更新を実施している。また、堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。抽出された変状毎の2次評価結果では、令和5年度末時点で、予防保全段階44箇所、措置段階0箇所となっている。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	計画堆砂量に対する堆砂率は令和6年度末で約87%。令和6年度はこれまでに整備した作業構台等の施設を利用し、ダム湖内浚渫を本格的に開始した。(R6年度は7000m3の浚渫)
	86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和4年度は橋梁、樋門等許可工作物91施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が43施設、予防保全段階が4施設あった。
	87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	宇治川全体で令和5年度～令和6年度にかけて、106,000千㎡伐採した。このときの伐採箇所はすべて流水阻害対象樹木群であった。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断測量等モニタリングを実施。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では、令和5年度で約70㎡、令和6年度で約60㎡のゴミを処理。